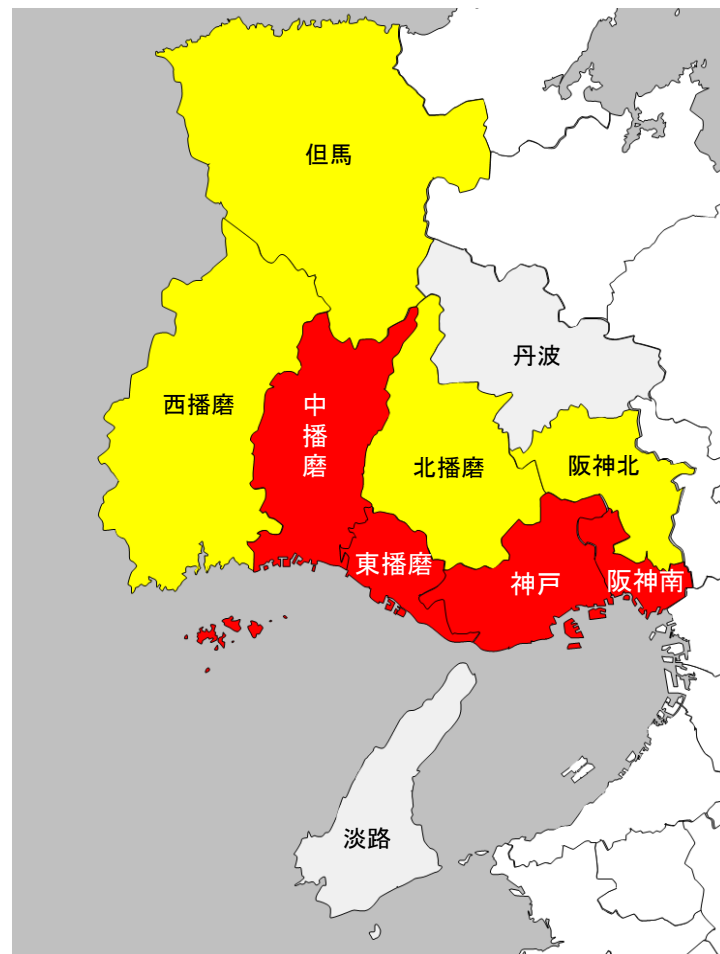


# 28. 兵庫県

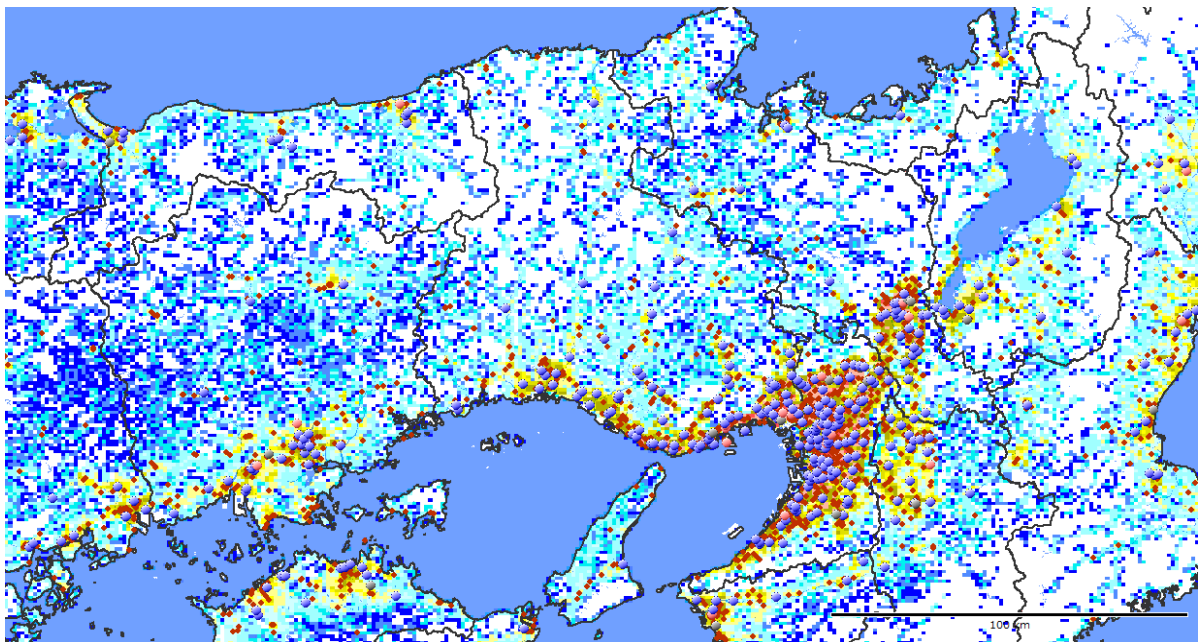


目次

兵庫県	28	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	28	-	8
1. 神戸医療圏	28	-	26
2. 阪神南医療圏	28	-	31
3. 阪神北医療圏	28	-	36
4. 東播磨医療圏	28	-	41
5. 北播磨医療圏	28	-	46
6. 中播磨医療圏	28	-	51
7. 西播磨医療圏	28	-	56
8. 但馬医療圏	28	-	61
9. 丹波医療圏	28	-	66
10. 淡路医療圏	28	-	71

# 28. 兵庫県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

## （兵庫県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 兵庫県は、総人口約5532千人（2015年推計）、面積8396km<sup>2</sup>、人口密度は659人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 兵庫県の総人口は2025年に5269千人へと減少し（2015年比－5%）、2040年に4674千人へと減少する（2025年比－11%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の710千人が、2025年にかけて966千人へと増加し（2015年比＋36%）、2040年には968千人とほぼ変わらない（2025年比±0%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 兵庫県の一人当たり医療費（国保）は334千円（偏差値54）、介護給付費は248千円（偏差値49）であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 兵庫県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.97、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.94で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が50（病院医師数49、診療所医師数52）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 兵庫県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、70725人（75歳以上1000人当たりの偏差値50）と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が39994床（偏差値47）、高齢者住宅等が30731床（偏差値53）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、51311人（75歳以上1000人当たりの偏差値46）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム53、軽費ホーム56、グループホーム44、サ高住53である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員（在宅）の合計は、11551人（75歳以上1000人当たりの偏差値55）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は－30%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

兵庫県の総人口は、2005年5590601人が、2015年に5532477人と1%減少し、2025年の人口が5268695人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

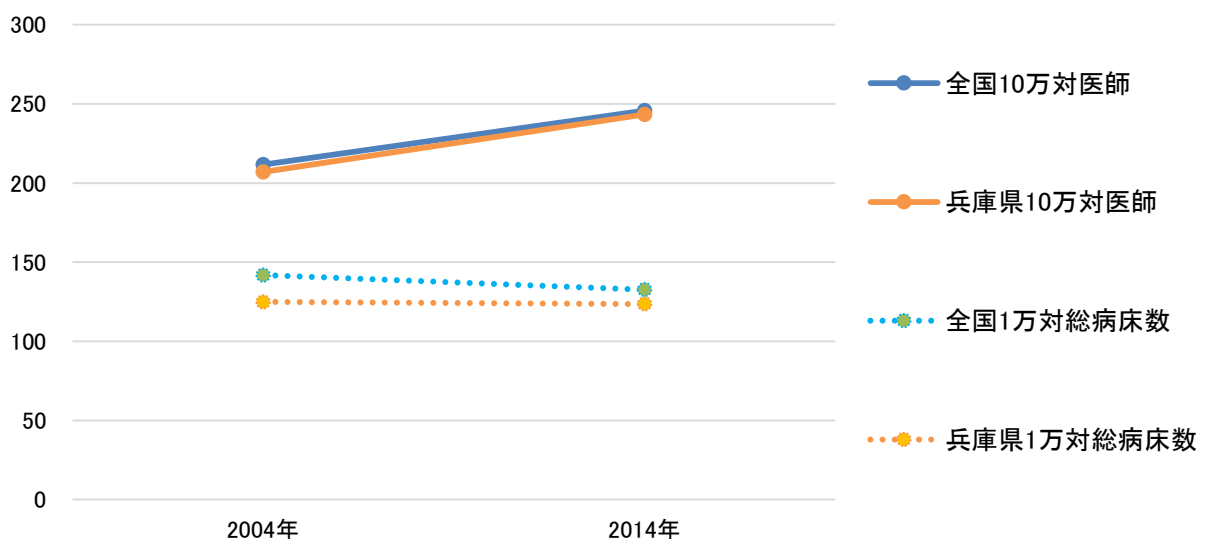
2004年の病院数が352(人口10万人当たり6.3病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に353(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が4771(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に4983(人口10万人当たり90診療所(全国平均79)偏差値56)と、212診療所が増加した。

2004年の総病床数が69828床(人口1万人当たり125(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に68354床(人口1万人当たり124(全国平均133)偏差値48)と、1474床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

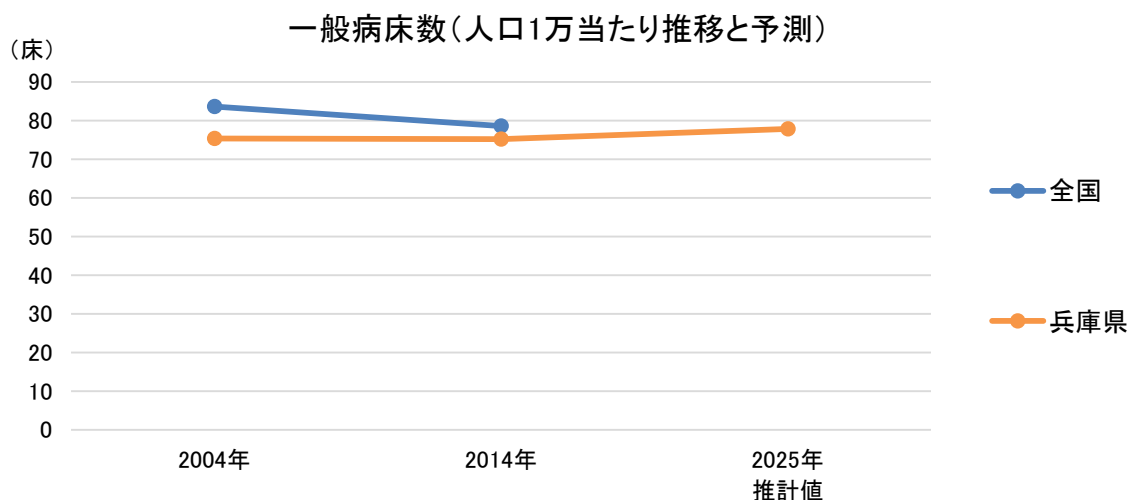
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が11569人(人口10万人当たり207人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に13461人(人口10万人当たり243人(全国平均246人)偏差値50)と、1892人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



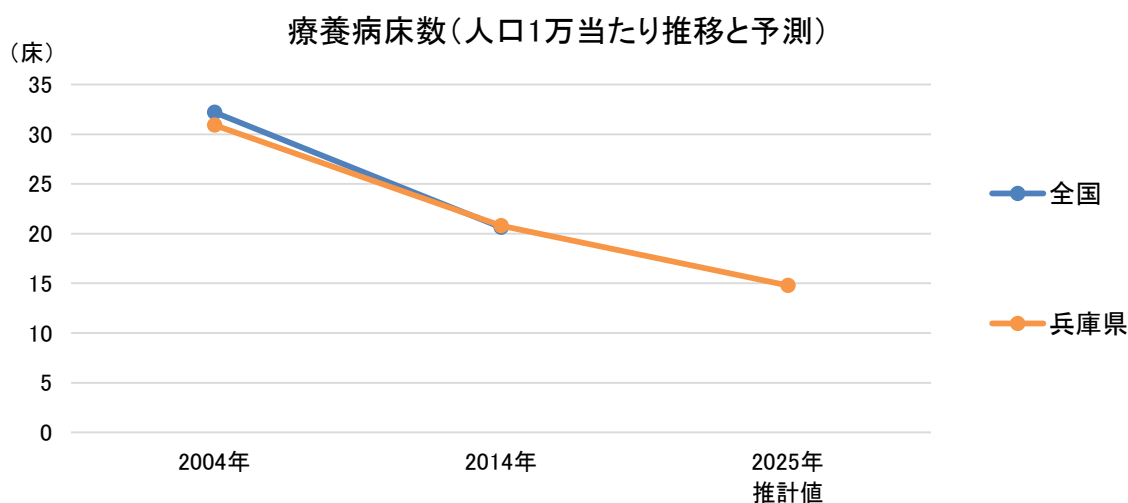
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が42129床(人口1万人当たり75(全国平均84)偏差値47)であったが、2014年に41606床(人口1万人当たり75(全国平均79)偏差値49)と、523床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には41031床(2025年の推計人口1万人当たり78)になることが予想される。



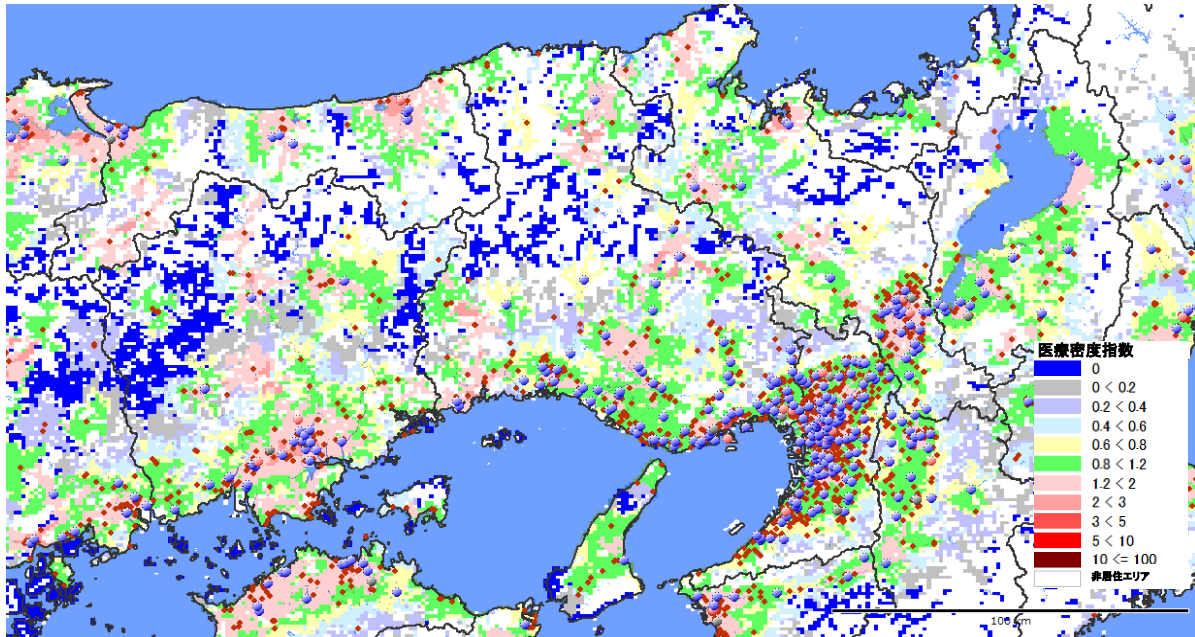
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が15201床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に14774床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、427床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には14304床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。

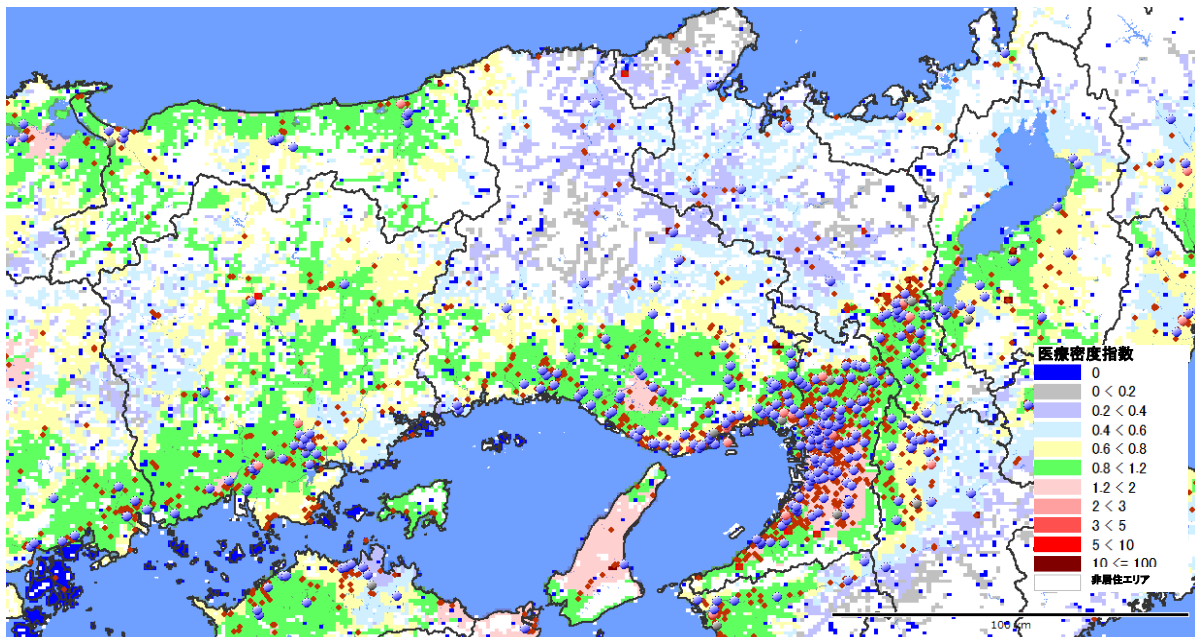


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表28-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-2 慢性期医療密度指数マップ



28. 兵庫県 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 28-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
兵庫県	5,532	7位	8,396	12位	658.9		27%	5,269	4,674	710	966	968	-5%	-11%	36%	0%
神戸	1,552	28%	553	7%	2,807.4	大都市型	28%	1,501	1,357	208	289	300	-3%	-10%	39%	4%
阪神南	1,026	19%	168	2%	6,114.7	大都市型	25%	990	895	119	164	164	-4%	-10%	38%	0%
阪神北	725	13%	481	6%	1,507.7	地方都市型	26%	703	637	86	125	133	-3%	-9%	45%	6%
東播磨	706	13%	266	3%	2,652.2	大都市型	26%	670	587	77	115	111	-5%	-12%	49%	-3%
北播磨	276	5%	896	11%	308.5	地方都市型	30%	255	217	40	52	50	-8%	-15%	30%	-4%
中播磨	573	10%	865	10%	662.1	地方都市型	26%	544	483	67	90	87	-5%	-11%	34%	-3%
西播磨	263	5%	1,567	19%	167.7	地方都市型	30%	241	203	38	48	44	-8%	-16%	26%	-8%
但馬	171	3%	2,134	25%	79.9	過疎地域型	34%	151	122	32	35	33	-12%	-19%	9%	-6%
丹波	106	2%	871	10%	121.3	過疎地域型	32%	95	78	18	21	20	-10%	-18%	17%	-5%
淡路	135	2%	596	7%	227.0	地方都市型	34%	119	94	25	28	26	-12%	-21%	12%	-7%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資\_図表 28-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
兵庫県	0.97	0.94	-30.0%	-30.2%
神戸	1.11	0.76	-16.9%	-21.4%
阪神南	1.01	1.14	-60.9%	-61.3%
阪神北	0.76	0.80	-25.8%	-33.6%
東播磨	0.95	1.32	-80.8%	-74.8%
北播磨	1.03	0.77	-32.1%	-27.9%
中播磨	0.86	0.98	-53.5%	-48.2%
西播磨	1.01	0.72	-23.8%	-13.2%
但馬	0.95	1.51	-6.1%	-1.4%
丹波	0.92	2.61	-26.8%	-21.7%
淡路	0.74	1.02	-7.8%	1.7%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。



資\_図表 28-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
兵庫県	334	54	1.043	248	49
神戸	333	53	1.038	260	52
阪神南	329	53	1.036	246	48
阪神北	326	52	0.989	223	42
東播磨	342	56	1.020	221	41
北播磨	351	58	1.045	254	50
中播磨	326	52	1.020	254	50
西播磨	354	59	1.039	254	50
但馬	334	54	0.999	291	60
丹波	354	58	1.051	255	50
淡路	323	51	1.000	266	53
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 28-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
兵庫県	353	4.2%	6.4	49	4,983	5.0%	90	56
神戸	110	31%	7.1	51	1,566	31%	101	61
阪神南	52	15%	5.1	46	1,125	23%	110	66
阪神北	35	10%	4.8	45	589	12%	81	51
東播磨	40	11%	5.7	47	525	11%	74	47
北播磨	22	6%	8.0	53	203	4%	73	47
中播磨	38	11%	6.6	50	426	9%	74	47
西播磨	24	7%	9.1	56	187	4%	71	46
但馬	12	3%	7.0	51	138	3%	81	51
丹波	8	2%	7.6	52	84	2%	80	50
淡路	12	3%	8.9	55	140	3%	103	62
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

28. 兵庫県 (2016年版)

資\_図表 28-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	100,461		79	(19.5)			73	(19.0)			6.6	(6.6)
兵庫県	4,983	5.0%	90	56	4,735	5.1%	86	57	248	3.0%	4.5	47
神戸	1,566	31%	101	61	1,496	32%	96	62	70	28%	4.5	47
阪神南	1,125	23%	110	66	1,080	23%	105	67	45	18%	4.4	47
阪神北	589	12%	81	51	566	12%	78	53	23	9%	3.2	45
東播磨	525	11%	74	47	491	10%	70	48	34	14%	4.8	47
北播磨	203	4%	73	47	190	4%	69	48	13	5%	4.7	47
中播磨	426	9%	74	47	396	8%	69	48	30	12%	5.2	48
西播磨	187	4%	71	46	173	4%	66	46	14	6%	5.3	48
但馬	138	3%	81	51	135	3%	79	53	3	1%	1.8	43
丹波	84	2%	80	50	78	2%	74	51	6	2%	5.7	49
淡路	140	3%	103	62	130	3%	96	62	10	4%	7.4	51
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 28-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,568,261		1,238	(503)			89	(106)			1,327	(565)
兵庫県	65,335	4.2%	1,181	49	3,019	2.7%	55	47	68,354	4.1%	1,236	48
神戸	18,907	29%	1,219	50	704	23%	45	46	19,611	29%	1,264	49
阪神南	9,603	15%	936	44	451	15%	44	46	10,054	15%	980	44
阪神北	8,601	13%	1,186	49	315	10%	43	46	8,916	13%	1,229	48
東播磨	7,747	12%	1,097	47	491	16%	70	48	8,238	12%	1,167	47
北播磨	4,518	7%	1,635	58	158	5%	57	47	4,676	7%	1,693	56
中播磨	6,641	10%	1,159	48	428	14%	75	49	7,069	10%	1,234	48
西播磨	3,591	5%	1,366	53	227	8%	86	50	3,818	6%	1,453	52
但馬	2,090	3%	1,226	50	57	2%	33	45	2,147	3%	1,259	49
丹波	1,566	2%	1,483	55	42	1%	40	45	1,608	2%	1,523	53
淡路	2,071	3%	1,531	56	146	5%	108	52	2,217	3%	1,638	56
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 28-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
兵庫県	38,911	4.4%	703	50	14,450	4.4%	261	50	11,720	3.5%	212	47
神戸	12,040	31%	776	53	3,154	22%	203	47	3,653	31%	235	49
阪神南	6,376	16%	621	46	2,467	17%	240	49	724	6%	71	41
阪神北	4,338	11%	598	45	2,631	18%	363	55	1,582	13%	218	48
東播磨	4,652	12%	659	48	1,625	11%	230	49	1,462	12%	207	47
北播磨	2,636	7%	954	61	979	7%	354	55	847	7%	307	52
中播磨	4,037	10%	705	50	1,302	9%	227	48	1,296	11%	226	48
西播磨	2,002	5%	762	52	667	5%	254	50	918	8%	349	54
但馬	1,270	3%	745	52	207	1%	121	43	602	5%	353	54
丹波	804	2%	761	52	492	3%	466	60	266	2%	252	49
淡路	756	2%	559	44	926	6%	684	70	370	3%	273	50
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 28-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
兵庫県	3,049	4.3%	55	50				
神戸	921	30%	59	51				
阪神南	422	14%	41	47				
阪神北	413	14%	57	50				
東播磨	361	12%	51	49				
北播磨	277	9%	100	59				
中播磨	343	11%	60	51				
西播磨	120	4%	46	48				
但馬	50	2%	29	44				
丹波	0	0%	0	38				
淡路	142	5%	105	60				
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

28. 兵庫県（2016年版）

資\_図表 28-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
兵庫県	19,561	17,957	195	45,487	20,803	14,190	46.3%	48	1.4%	47
神戸	5,641	4,723	45	13,399	7,491	3,075	38.7%	44	1.4%	47
阪神南	2,408	2,400	0	7,023	3,838	2,433	38.5%	44	0.0%	46
阪神北	2,855	2,481	0	5,720	1,828	2,634	57.6%	52	0.0%	46
東播磨	2,385	2,377	0	5,329	2,242	1,625	51.5%	50	0.0%	46
北播磨	1,263	1,234	23	3,204	1,401	956	46.8%	48	2.3%	47
中播磨	1,486	1,480	0	5,142	2,544	1,302	36.8%	44	0.0%	46
西播磨	1,112	1,108	0	2,479	894	667	55.3%	51	0.0%	46
但馬	1,416	1,227	127	617	0	80	100.0%	70	61.4%	73
丹波	402	398	0	1,096	338	492	54.1%	51	0.0%	46
淡路	593	529	0	1,478	227	926	70.0%	57	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 28-10 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
兵庫県	134,544	4.8%	2,432	52	39,852	3.9%	720	47
神戸	45,384	34%	2,925	57	10,884	27%	701	46
阪神南	33,588	25%	3,273	60	5,928	15%	578	42
阪神北	9,888	7%	1,363	42	3,720	9%	513	40
東播磨	16,068	12%	2,276	50	6,708	17%	950	55
北播磨	4,524	3%	1,637	44	2,412	6%	873	52
中播磨	16,464	12%	2,874	56	6,204	16%	1,083	60
西播磨	2,616	2%	995	38	1,332	3%	507	39
但馬	2,484	2%	1,457	43	1,224	3%	718	47
丹波	1,284	1%	1,216	41	600	2%	568	42
淡路	2,244	2%	1,658	45	840	2%	621	43
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 28-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
兵庫県	14,921	4.4%	270	50	8,799	4.2%	159	49	6,122	4.7%	111	52
神戸	5,015	34%	323	56	3,105	35%	200	55	1,910	31%	123	56
阪神南	3,371	23%	328	56	1,895	22%	185	53	1,476	24%	144	62
阪神北	1,586	11%	219	45	825	9%	114	42	762	12%	105	51
東播磨	1,552	10%	220	45	901	10%	128	44	651	11%	92	47
北播磨	629	4%	228	46	415	5%	150	48	214	3%	77	42
中播磨	1,328	9%	232	46	797	9%	139	46	532	9%	93	47
西播磨	516	3%	196	42	321	4%	122	43	195	3%	74	41
但馬	363	2%	213	44	210	2%	123	44	153	3%	90	46
丹波	215	1%	204	43	136	2%	129	44	79	1%	75	41
淡路	344	2%	254	48	193	2%	142	46	151	2%	112	53
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 28-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	小児科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	産婦人科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
兵庫県	704	4.5%	12.7	51	524	4.2%	9.5	49	420	4.0%	7.6	48
神戸	277	39%	17.9	58	204	39%	13.1	57	162	39%	10.4	56
阪神南	127	18%	12.4	50	106	20%	10.3	51	78	19%	7.6	48
阪神北	67	10%	9.2	45	50	10%	6.9	44	38	9%	5.2	42
東播磨	69	10%	9.8	46	52	10%	7.4	45	54	13%	7.6	48
北播磨	40	6%	14.5	53	24	5%	8.7	47	17	4%	6.2	45
中播磨	66	9%	11.5	49	45	9%	7.9	46	40	10%	7.0	47
西播磨	19	3%	7.2	42	12	2%	4.6	38	11	3%	4.2	39
但馬	16	2%	9.4	46	14	3%	8.2	46	5	1%	2.9	36
丹波	9	1%	8.5	44	6	1%	5.7	41	6	1%	5.7	43
淡路	14	2%	10.3	47	11	2%	8.1	46	9	2%	6.7	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

28. 兵庫県（2016年版）

資\_図表 28-13 専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
兵庫県	215	4.1%	3.9	49	497	5.3%	9.0	55	346	4.6%	6.3	51
神戸	78	36%	5.0	54	174	35%	11.2	62	119	34%	7.7	57
阪神南	52	24%	5.1	54	105	21%	10.2	59	85	25%	8.3	59
阪神北	27	13%	3.7	48	52	10%	7.2	49	29	8%	4.0	43
東播磨	22	10%	3.1	45	52	10%	7.4	50	35	10%	5.0	46
北播磨	10	5%	3.6	47	21	4%	7.6	51	14	4%	5.1	47
中播磨	14	7%	2.4	42	58	12%	10.1	58	33	10%	5.8	49
西播磨	4	2%	1.5	38	8	2%	3.0	36	13	4%	4.9	46
但馬	2	1%	1.2	36	10	2%	5.9	45	8	2%	4.7	45
丹波	3	1%	2.8	44	9	2%	8.5	53	4	1%	3.8	42
淡路	3	1%	2.2	41	8	2%	5.9	45	6	2%	4.4	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 28-14 専門医数（精神科、外科、整形外科）

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
兵庫県	312	3.8%	5.6	47	917	4.5%	16.6	51	723	4.7%	13.1	52
神戸	126	40%	8.1	54	313	34%	20.2	56	255	35%	16.4	60
阪神南	54	17%	5.3	46	188	21%	18.3	53	157	22%	15.3	57
阪神北	29	9%	4.0	43	90	10%	12.4	45	65	9%	9.0	43
東播磨	30	10%	4.2	43	112	12%	15.9	50	81	11%	11.5	49
北播磨	11	4%	4.0	43	42	5%	15.2	49	39	5%	14.1	54
中播磨	32	10%	5.6	47	88	10%	15.4	49	66	9%	11.5	49
西播磨	14	4%	5.3	47	31	3%	11.8	44	24	3%	9.1	43
但馬	5	2%	2.9	40	24	3%	14.1	47	9	1%	5.3	35
丹波	5	2%	4.7	45	9	1%	8.5	39	10	1%	9.5	44
淡路	6	2%	4.4	44	20	2%	14.8	48	17	2%	12.6	51
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 28-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
兵庫県	245	4.3%	4.4	50	270	4.2%	4.9	49	253	4.8%	4.6	51
神戸	84	34%	5.4	54	101	37%	6.5	56	111	44%	7.2	60
阪神南	46	19%	4.5	50	50	19%	4.9	49	49	19%	4.8	52
阪神北	35	14%	4.8	52	29	11%	4.0	46	11	4%	1.5	41
東播磨	24	10%	3.4	45	24	9%	3.4	43	27	11%	3.8	49
北播磨	14	6%	5.1	53	12	4%	4.3	47	8	3%	2.9	46
中播磨	21	9%	3.7	46	33	12%	5.8	53	22	9%	3.8	49
西播磨	9	4%	3.4	45	7	3%	2.7	40	11	4%	4.2	50
但馬	5	2%	2.9	42	8	3%	4.7	49	3	1%	1.8	42
丹波	4	2%	3.8	47	1	0%	0.9	33	6	2%	5.7	55
淡路	3	1%	2.2	39	5	2%	3.7	44	5	2%	3.7	48
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 28-16 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
兵庫県	280	4.3%	5.1	50	64	4.2%	1.2	49	138	4.2%	2.5	49
神戸	101	36%	6.5	54	25	39%	1.6	54	48	35%	3.1	53
阪神南	69	25%	6.7	55	13	20%	1.3	51	36	26%	3.5	55
阪神北	28	10%	3.9	46	6	9%	0.8	46	7	5%	1.0	41
東播磨	29	10%	4.1	47	11	17%	1.6	54	19	14%	2.7	51
北播磨	11	4%	4.0	46	2	3%	0.7	45	5	4%	1.8	45
中播磨	26	9%	4.5	48	5	8%	0.9	46	9	7%	1.6	44
西播磨	6	2%	2.3	41	0	0%	0	37	0	0%	0	35
但馬	3	1%	1.8	39	1	2%	0.6	43	10	7%	5.9	69
丹波	3	1%	2.8	42	0	0%	0	37	0	0%	0	35
淡路	4	1%	3.0	43	1	2%	0.7	45	4	3%	3.0	52
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

28. 兵庫県（2016年版）

資\_図表 28-17 専門医数（形成外科、リハビリテーション科）

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
兵庫県	89	4.5%	1.6	50	98	4.1%	1.8	49
神戸	37	42%	2.4	57	36	37%	2.3	53
阪神南	21	24%	2.0	54	22	22%	2.1	52
阪神北	8	9%	1.1	46	7	7%	1.0	43
東播磨	5	6%	0.7	43	8	8%	1.1	44
北播磨	3	3%	1.1	46	6	6%	2.2	52
中播磨	8	9%	1.4	49	12	12%	2.1	52
西播磨	2	2%	0.8	43	3	3%	1.1	44
但馬	3	3%	1.8	52	0	0%	0	36
丹波	0	0%	0	37	4	4%	3.8	65
淡路	2	2%	1.5	49	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資\_図表 28-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
兵庫県	45,307	4.1%	819	48	37,831	4.2%	684	49	7,476	3.8%	135	47
神戸	13,428	30%	865	50	11,493	30%	741	51	1,935	26%	125	46
阪神南	7,981	18%	778	47	6,383	17%	622	46	1,599	21%	156	50
阪神北	5,000	11%	689	44	4,153	11%	573	44	847	11%	117	45
東播磨	5,569	12%	789	47	4,703	12%	666	48	866	12%	123	46
北播磨	2,588	6%	937	52	2,311	6%	837	55	277	4%	100	43
中播磨	5,113	11%	893	51	4,215	11%	736	51	899	12%	157	50
西播磨	1,949	4%	741	46	1,637	4%	623	46	312	4%	119	45
但馬	1,496	3%	877	50	1,182	3%	693	49	314	4%	184	54
丹波	851	2%	806	48	723	2%	685	49	128	2%	121	45
淡路	1,332	3%	984	54	1,032	3%	763	52	299	4%	221	59
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			



資\_図表 28-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
兵庫県	5,175	4.3%	94	50	13,914	4.8%	251	52
神戸	1,475	29%	95	50	5,014	36%	323	60
阪神南	829	16%	81	47	2,708	19%	264	54
阪神北	518	10%	71	46	1,677	12%	231	50
東播磨	651	13%	92	50	1,533	11%	217	49
北播磨	444	9%	161	63	560	4%	203	47
中播磨	612	12%	107	52	1,186	9%	207	48
西播磨	269	5%	102	52	454	3%	173	44
但馬	89	2%	52	42	294	2%	172	44
丹波	70	1%	66	45	213	2%	202	47
淡路	218	4%	161	63	275	2%	203	48
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 28-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
兵庫県	872	5.9%	1.2	57	58	5.2%	0.1	52	495	5.2%	0.7	56
神戸	290	33%	1.4	61	24	41%	0.1	57	137	28%	0.7	54
阪神南	192	22%	1.6	66	8	14%	0.1	50	103	21%	0.9	65
阪神北	105	12%	1.2	57	2	3%	0.0	43	50	10%	0.6	50
東播磨	81	9%	1.0	53	3	5%	0.0	45	52	11%	0.7	55
北播磨	42	5%	1.1	54	5	9%	0.1	59	25	5%	0.6	52
中播磨	59	7%	0.9	50	7	12%	0.1	56	53	11%	0.8	62
西播磨	22	3%	0.6	43	2	3%	0.1	48	28	6%	0.7	58
但馬	36	4%	1.1	55	2	3%	0.1	49	22	4%	0.7	56
丹波	10	1%	0.5	42	2	3%	0.1	56	9	2%	0.5	45
淡路	35	4%	1.4	61	3	5%	0.1	58	16	3%	0.6	53
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

28. 兵庫県 (2016年版)

資\_図表 28-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員 (病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	出典	
													介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)		
兵庫県	70,725	4.3%	100	50	39,994	4.1%	56	47	30,731	4.7%	43	53		
神戸	23,737	34%	114	59	11,434	29%	55	46	12,303	40%	59	63		
阪神南	10,501	15%	88	43	5,735	14%	48	41	4,766	16%	40	50		
阪神北	9,998	14%	116	60	4,471	11%	52	44	5,527	18%	64	67		
東播磨	6,683	9%	87	42	4,131	10%	54	45	2,552	8%	33	46		
北播磨	3,495	5%	88	43	2,706	7%	68	56	789	3%	20	37		
中播磨	6,363	9%	95	48	3,817	10%	57	48	2,546	8%	38	49		
西播磨	3,539	5%	93	46	2,728	7%	72	59	811	3%	21	38		
但馬	2,859	4%	89	44	2,207	6%	69	57	652	2%	20	37		
丹波	1,207	2%	66	30	1,017	3%	56	47	190	1%	10	30		
淡路	2,343	3%	93	46	1,748	4%	69	58	595	2%	24	39		

資\_図表 28-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	出典	
													平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの	
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)		
兵庫県	14,528	4.0%	20	47	22,738	4.1%	32	48	2,728	4.0%	3.8	49		
神戸	5,147	35%	25	55	5,347	24%	26	42	940	34%	4.5	51		
阪神南	2,305	16%	19	45	3,267	14%	27	44	163	6%	1.4	43		
阪神北	1,514	10%	18	42	2,483	11%	29	45	474	17%	5.5	53		
東播磨	1,519	10%	20	46	2,280	10%	30	46	332	12%	4.3	50		
北播磨	682	5%	17	41	1,786	8%	45	61	238	9%	6.0	55		
中播磨	1,046	7%	16	39	2,438	11%	37	53	333	12%	5.0	52		
西播磨	826	6%	22	49	1,819	8%	48	64	83	3%	2.2	45		
但馬	558	4%	17	42	1,637	7%	51	67	12	0%	0.4	41		
丹波	376	3%	21	47	593	3%	32	49	48	2%	2.6	46		
淡路	555	4%	22	50	1,088	5%	43	60	105	4%	4.2	50		

資\_図表 28-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値	全国	軽費ホーム	全国	75歳以上	偏差値	全国	グループホーム	全国	75歳以上	偏差値
		シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は
全国	223,346		13.6	(10.3)		22,728		1.4	(2.1)		191,184		11.6	(5.6)
兵庫県	12,086	5.4%	17.0	53		1,907	8.4%	2.7	56		5,920	3.1%	8.3	44
神戸	6,086	50%	29.3	65		1,312	69%	6.3	74		1,890	32%	9.1	45
阪神南	1,832	15%	15.4	52		30	2%	0.3	45		905	15%	7.6	43
阪神北	2,792	23%	32.5	68		232	12%	2.7	56		639	11%	7.4	43
東播磨	555	5%	7.2	44		0	0%	0	43		598	10%	7.7	43
北播磨	72	1%	1.8	39		90	5%	2.3	54		281	5%	7.0	42
中播磨	651	5%	9.8	46		0	0%	0	43		498	8%	7.5	43
西播磨	98	1%	2.6	39		6	0%	0.2	44		306	5%	8.0	44
但馬	0	0%	0	37		57	3%	1.8	52		429	7%	13.4	53
丹波	0	0%	0	37		0	0%	0	43		144	2%	7.9	43
淡路	0	0%	0	37		180	9%	7.2	78		230	4%	9.1	46
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの													

資\_図表 28-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)	全国	75歳以上	偏差値	全国	サ高住(特定施設)	全国	75歳以上	偏差値	全国	サ高住(非特定施設)	全国	75歳以上	偏差値	
		シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は	
全国	212,481		12.9	(6.7)		13,027		0.8	(1.6)		199,454		12.1	(6.3)	
兵庫県	10,818	5.1%	15.2	53		594	4.6%	0.8	50		10,224	5.1%	14.4	54	
神戸	3,015	28%	14.5	52		0	0%	0	45		3,015	29%	14.5	54	
阪神南	1,999	18%	16.8	56		0	0%	0	45		1,999	20%	16.8	57	
阪神北	1,864	17%	21.7	63		300	51%	3.5	67		1,564	15%	18.2	60	
東播磨	1,399	13%	18.1	58		141	24%	1.8	57		1,258	12%	16.3	57	
北播磨	346	3%	8.7	44		129	22%	3.2	65		217	2%	5.4	39	
中播磨	1,397	13%	21.0	62		0	0%	0	45		1,397	14%	21.0	64	
西播磨	401	4%	10.5	46		0	0%	0	45		401	4%	10.5	47	
但馬	166	2%	5.2	38		24	4%	0.7	50		142	1%	4.4	38	
丹波	46	0%	2.5	35		0	0%	0	45		46	0%	2.5	35	
淡路	185	2%	7.4	42		0	0%	0	45		185	2%	7.4	42	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計					平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

28. 兵庫県（2016年版）

資\_図表 28-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
兵庫県	7,144	4.5%	10.1	51	4,918	4.2%	6.9	49	2,226	5.3%	3.1	57
神戸	2,361	33%	11.3	57	1,690	34%	8.1	54	671	30%	3.2	58
阪神南	1,065	15%	8.9	47	586	12%	4.9	40	480	22%	4.0	67
阪神北	830	12%	9.7	50	611	12%	7.1	50	219	10%	2.6	50
東播磨	721	10%	9.3	48	503	10%	6.5	47	218	10%	2.8	53
北播磨	435	6%	10.9	55	306	6%	7.7	52	129	6%	3.2	58
中播磨	675	9%	10.1	52	441	9%	6.6	47	235	11%	3.5	61
西播磨	360	5%	9.4	49	274	6%	7.2	50	86	4%	2.3	46
但馬	294	4%	9.2	48	199	4%	6.2	45	95	4%	3.0	55
丹波	155	2%	8.5	45	119	2%	6.5	47	36	2%	2.0	43
淡路	247	3%	9.8	50	190	4%	7.5	52	57	3%	2.3	47
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 28-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					介護職員数 (介護施設等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
兵庫県	62,863	4.2%	88	49	51,311	4.1%	72	46	11,551	5.2%	16.3	55
神戸	19,054	30%	92	51	15,147	30%	73	47	3,906	34%	18.8	59
阪神南	10,762	17%	90	50	7,578	15%	64	39	3,184	28%	26.7	74
阪神北	6,920	11%	81	42	5,798	11%	68	42	1,122	10%	13.1	49
東播磨	6,467	10%	84	45	5,475	11%	71	45	992	9%	12.8	49
北播磨	3,419	5%	86	46	3,143	6%	79	52	275	2%	6.9	38
中播磨	5,928	9%	89	49	4,800	9%	72	46	1,128	10%	16.9	56
西播磨	3,430	5%	90	50	3,106	6%	82	54	324	3%	8.5	41
但馬	2,950	5%	92	52	2,728	5%	85	57	222	2%	6.9	38
丹波	1,523	2%	83	44	1,416	3%	77	51	107	1%	5.8	36
淡路	2,411	4%	96	55	2,120	4%	84	57	291	3%	11.6	46
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 28-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
兵庫県	47,367	4.4%	67	51	28,970	7.0%	41	65	84,672	5.7%	119	59
神戸	14,804	31%	71	52	8,625	30%	41	65	29,898	35%	144	67
阪神南	15,521	33%	130	71	6,179	21%	52	75	19,500	23%	164	73
阪神北	4,442	9%	52	46	3,138	11%	37	61	8,759	10%	102	54
東播磨	2,997	6%	39	41	2,876	10%	37	61	9,091	11%	118	59
北播磨	1,790	4%	45	43	1,573	5%	39	63	2,168	3%	54	38
中播磨	3,099	7%	47	44	3,370	12%	51	74	7,812	9%	117	58
西播磨	1,898	4%	50	45	934	3%	25	50	2,522	3%	66	42
但馬	1,123	2%	35	40	1,096	4%	34	59	1,868	2%	58	40
丹波	671	1%	37	41	392	1%	21	47	853	1%	47	36
淡路	1,022	2%	41	42	787	3%	31	56	2,201	3%	87	49
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 28-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
兵庫県		5,590,601	5,532,477	-1%	5,268,695	-6%	14%	5%	19%
神戸	大都市型	1,525,393	1,551,558	2%	1,501,306	-2%	18%	7%	26%
阪神南	大都市型	1,018,574	1,026,295	1%	989,640	-3%	16%	5%	21%
阪神北	地方都市型	713,373	725,224	2%	702,851	-1%	19%	8%	28%
東播磨	大都市型	718,429	706,032	-2%	670,123	-7%	15%	6%	21%
北播磨	地方都市型	291,745	276,276	-5%	255,476	-12%	8%	2%	11%
中播磨	地方都市型	584,128	572,838	-2%	544,321	-7%	11%	3%	14%
西播磨	地方都市型	280,302	262,832	-6%	240,956	-14%	6%	1%	7%
但馬	過疎地域型	191,211	170,503	-11%	150,718	-21%	-1%	-4%	-5%
丹波	過疎地域型	116,055	105,606	-9%	94,572	-19%	0%	-3%	-2%
淡路	地方都市型	151,391	135,313	-11%	118,732	-22%	1%	-4%	-3%
出典	<人口(2005年)> 平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口、年齢(3区分)・割合、就業者数、昼間人口など) <人口(2015年、2025年)> 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

28. 兵庫県（2016年版）

資\_図表 28-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
兵庫県	352	6.3	48	353	6.4	49	1	0%	354
神戸	107	7.0	50	110	7.1	51	3	3%	113
阪神南	53	5.2	45	52	5.1	46	-1	-2%	51
阪神北	33	4.6	44	35	4.8	45	2	6%	37
東播磨	41	5.7	46	40	5.7	47	-1	-2%	39
北播磨	21	7.2	50	22	8.0	53	1	5%	23
中播磨	41	7.0	50	38	6.6	50	-3	-7%	35
西播磨	23	8.2	53	24	9.1	56	1	4%	25
但馬	14	7.3	51	12	7.0	51	-2	-14%	10
丹波	7	6.0	47	8	7.6	52	1	14%	9
淡路	12	7.9	52	12	8.9	55	0	0%	12
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 28-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
兵庫県	4,771	85	55	4,983	90	56	212	4%	5,217
神戸	1,547	101	63	1,566	101	61	19	1%	1,587
阪神南	1,012	99	62	1,125	110	66	113	11%	1,249
阪神北	526	74	49	589	81	51	63	12%	658
東播磨	505	70	47	525	74	47	20	4%	547
北播磨	212	73	48	203	73	47	-9	-4%	193
中播磨	428	73	49	426	74	47	-2	0%	424
西播磨	181	65	44	187	71	46	6	3%	194
但馬	133	70	47	138	81	51	5	4%	144
丹波	85	73	49	84	80	50	-1	-1%	83
淡路	142	94	59	140	103	62	-2	-1%	138
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 28-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
兵庫県	11,569	207	49	13,461	243	50	1,892	16%	15,542
神戸	4,058	266	56	4,869	314	57	811	20%	5,761
阪神南	2,452	241	53	2,880	281	54	428	17%	3,351
阪神北	1,149	161	44	1,351	186	44	202	18%	1,573
東播磨	1,147	160	44	1,376	195	45	229	20%	1,628
北播磨	492	169	45	565	205	46	73	15%	645
中播磨	1,035	177	46	1,183	207	46	148	14%	1,346
西播磨	393	140	41	412	157	41	19	5%	433
但馬	336	176	46	336	197	45	0	0%	336
丹波	212	183	47	190	180	43	-22	-10%	166
淡路	295	195	48	299	221	47	4	1%	303
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 28-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
兵庫県	69,828	125	47	68,354	124	48	-1,474	-2%	66,733
神戸	19,939	131	48	19,611	126	49	-328	-2%	19,250
阪神南	10,233	100	43	10,054	98	44	-179	-2%	9,857
阪神北	8,469	119	46	8,916	123	48	447	5%	9,408
東播磨	8,412	117	46	8,238	117	47	-174	-2%	8,047
北播磨	4,683	161	53	4,676	169	56	-7	0%	4,668
中播磨	7,657	131	48	7,069	123	48	-588	-8%	6,422
西播磨	3,927	140	50	3,818	145	52	-109	-3%	3,698
但馬	2,539	133	48	2,147	126	49	-392	-15%	1,716
丹波	1,667	144	50	1,608	152	53	-59	-4%	1,543
淡路	2,302	152	52	2,217	164	56	-85	-4%	2,124
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

28. 兵庫県 (2016年版)

資\_図表 28-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
兵庫県	42,129	75	47	41,606	75	49	-523	-1%	41,031	78
神戸	12,427	81	49	12,664	82	51	237	2%	12,925	86
阪神南	6,918	68	44	6,799	66	45	-119	-2%	6,668	67
阪神北	4,523	63	43	4,641	64	45	118	3%	4,771	68
東播磨	5,260	73	46	5,098	72	48	-162	-3%	4,920	73
北播磨	2,510	86	51	2,794	101	58	284	11%	3,106	122
中播磨	4,747	81	49	4,427	77	50	-320	-7%	4,075	75
西播磨	2,291	82	49	2,183	83	52	-108	-5%	2,064	86
但馬	1,621	85	50	1,288	76	49	-333	-21%	922	61
丹波	937	81	49	837	79	50	-100	-11%	727	77
淡路	895	59	41	875	65	45	-20	-2%	853	72
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 28-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
兵庫県	15,201	31	49	14,774	21	50	-427	-3%	14,304	15
神戸	3,670	28	47	3,234	16	46	-436	-12%	2,754	10
阪神南	2,435	31	49	2,495	21	50	60	2%	2,561	16
阪神北	2,264	43	56	2,643	31	59	379	17%	3,060	24
東播磨	1,616	31	49	1,670	22	51	54	3%	1,729	15
北播磨	1,270	41	55	979	25	53	-291	-23%	659	13
中播磨	1,593	33	50	1,340	20	50	-253	-16%	1,062	12
西播磨	714	23	45	713	19	48	-1	0%	712	15
但馬	245	9	37	246	8	39	1	0%	247	7
丹波	410	25	46	501	27	56	91	22%	601	29
淡路	984	45	57	953	38	65	-31	-3%	919	33
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									



資\_図表 28-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
兵庫県	344	54	1.028	130	51	1.010	187	56	1.032
神戸	343	54	1.043	128	51	1.009	189	57	1.061
阪神南	337	52	1.033	124	49	0.988	185	55	1.048
阪神北	337	52	0.994	127	50	0.976	181	52	0.986
東播磨	355	56	1.029	131	52	0.987	196	61	1.047
北播磨	365	59	1.056	148	58	1.115	190	57	1.016
中播磨	333	51	1.014	128	51	1.013	180	52	1.009
西播磨	363	58	1.038	147	57	1.089	192	59	1.014
但馬	337	52	0.976	134	53	1.009	180	52	0.964
丹波	368	59	1.058	148	58	1.103	194	60	1.030
淡路	341	53	1.023	128	51	0.992	188	57	1.048
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# 28-1. こうべ 神戸医療圏

構成市区町村<sup>10</sup>

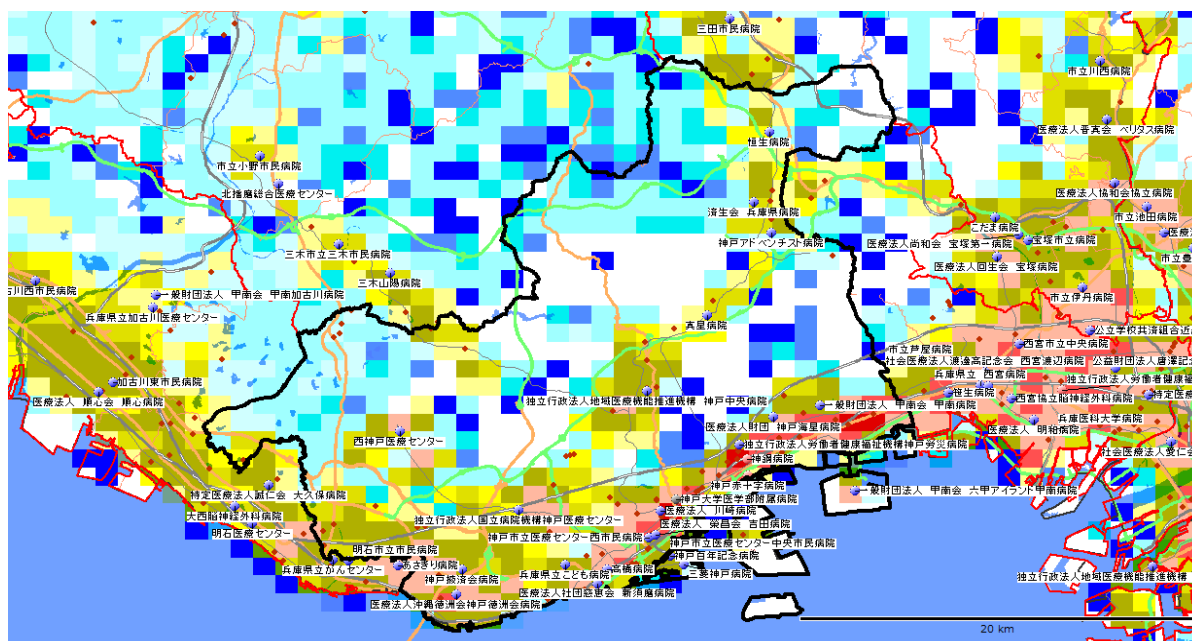
[東灘区](#)  
[須磨区](#)  
[西区](#)

[灘区](#)  
[垂水区](#)

[兵庫区](#)  
[北区](#)

[長田区](#)  
[中央区](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (神戸医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 神戸(神戸市東灘区)は、総人口約1552千人(2015年推計)、面積553km<sup>2</sup>、人口密度は2807人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 神戸の総人口は2025年に1501千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に1357千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の208千人が、2025年にかけて289千人へと増加し(2015年比+39%)、2040年には300千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 神戸の一人当たり医療費(国保)は333千円(偏差値53)、介護給付費は260千円(偏差値52)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 神戸の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.11、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.76で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が56(病院医師数55、診療所医師数56)と、総医師数、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は57と多い。神戸には、年間全身麻酔件数が2000例以上の西神戸医療センター(Ⅲ群)、兵庫県立こども病院(Ⅲ群)、神戸大学医学部附属病院(Ⅰ群)、神戸市立医療センター中央市民病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の神戸労災病院(Ⅲ群)、新須磨病院(Ⅲ群)、神戸市立医療センター西市民病院(Ⅲ群)、神戸海星病院(Ⅲ群)、神戸赤十字病院(Ⅲ群)、神鋼記念病院(Ⅱ群)、500例以上の国立病院機構神戸医療センター(Ⅲ群)、済生会兵庫県病院(Ⅲ群)、JCHO神戸中央病院(Ⅲ群)、神戸掖済会病院(Ⅲ群)、神戸百年記念病院(Ⅲ群)、川崎病院(Ⅲ群)、六甲アイランド甲南病院(Ⅲ群)、甲南病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 神戸の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、23737人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が11434床(偏差値46)、高齢者住宅等が12303床(偏差値63)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、15147人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム65、軽費ホーム74、グループホーム45、サ高住52である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値61と多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、3906人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-21%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

神戸医療圏の総人口は、2005年1525393人が、2015年に1551558人と2%増加し、2025年の人口が1501306人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

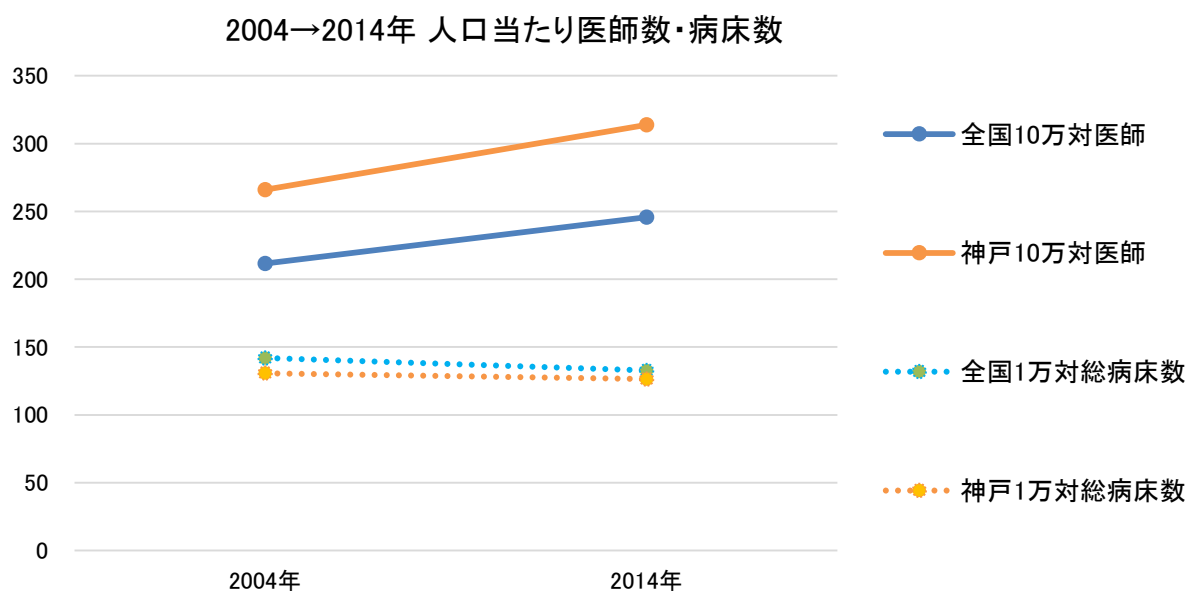
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が107(人口10万人当たり7病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に110(人口10万人当たり7.1病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で3病院が増加した。

2004年の診療所数が1547(人口10万人当たり101診療所(全国平均76)偏差値63)であったが、2014年に1566(人口10万人当たり101診療所(全国平均79)偏差値61)と、19診療所が増加した。

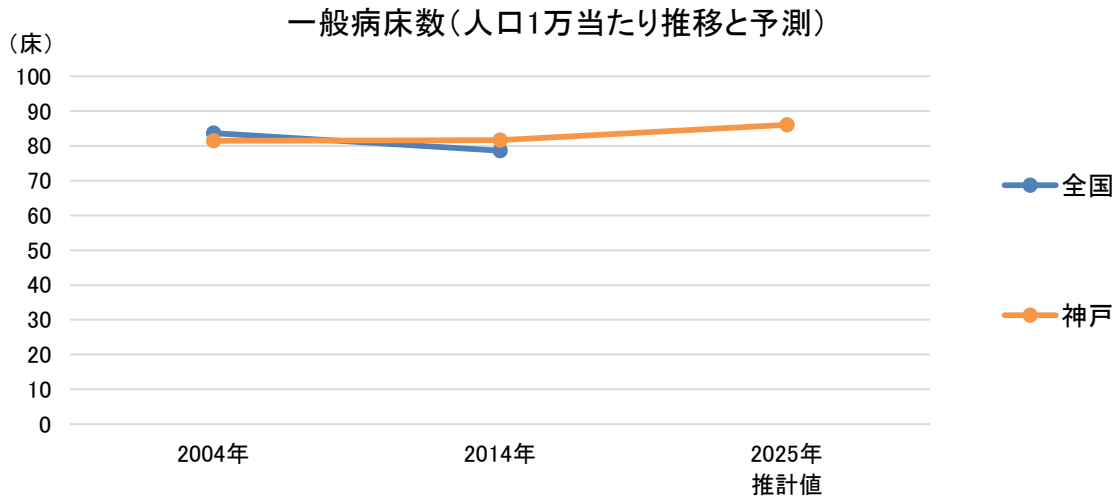
2004年の総病床数が19939床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に19611床(人口1万人当たり126(全国平均133)偏差値49)と、328床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が4058人(人口10万人当たり266人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に4869人(人口10万人当たり314人(全国平均246人)偏差値57)と、811人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



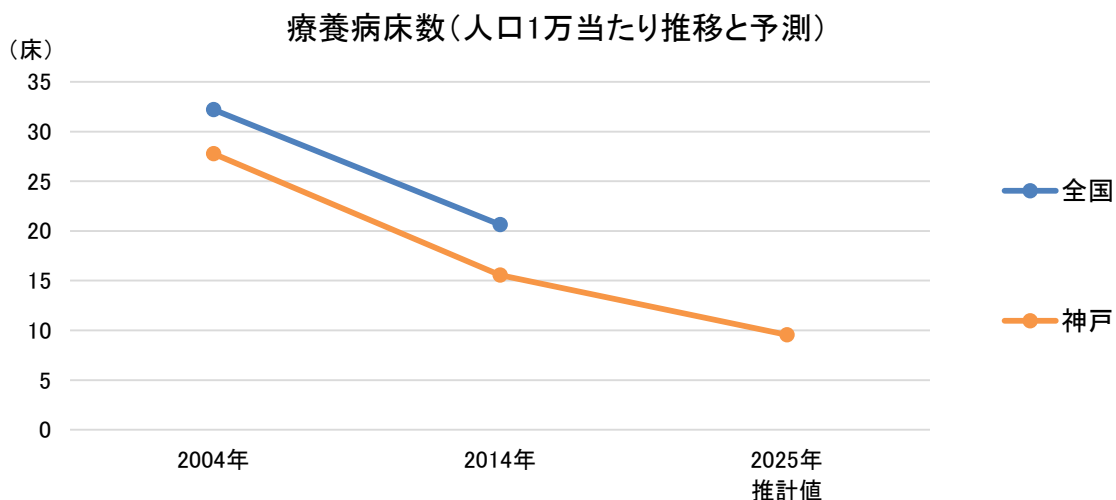
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12427床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に12664床(人口1万人当たり82(全国平均79)偏差値51)と、237床の増加、率にして2%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には12925床(2025年の推計人口1万人当たり86)になることが予想される。



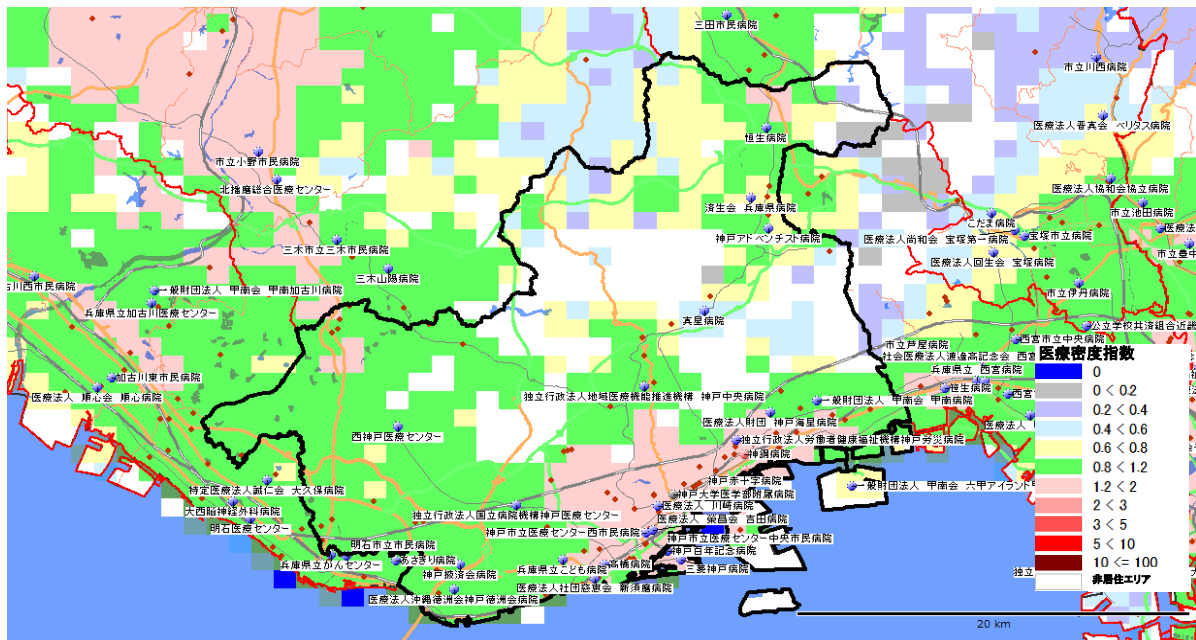
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3670床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に3234床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、436床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2754床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。

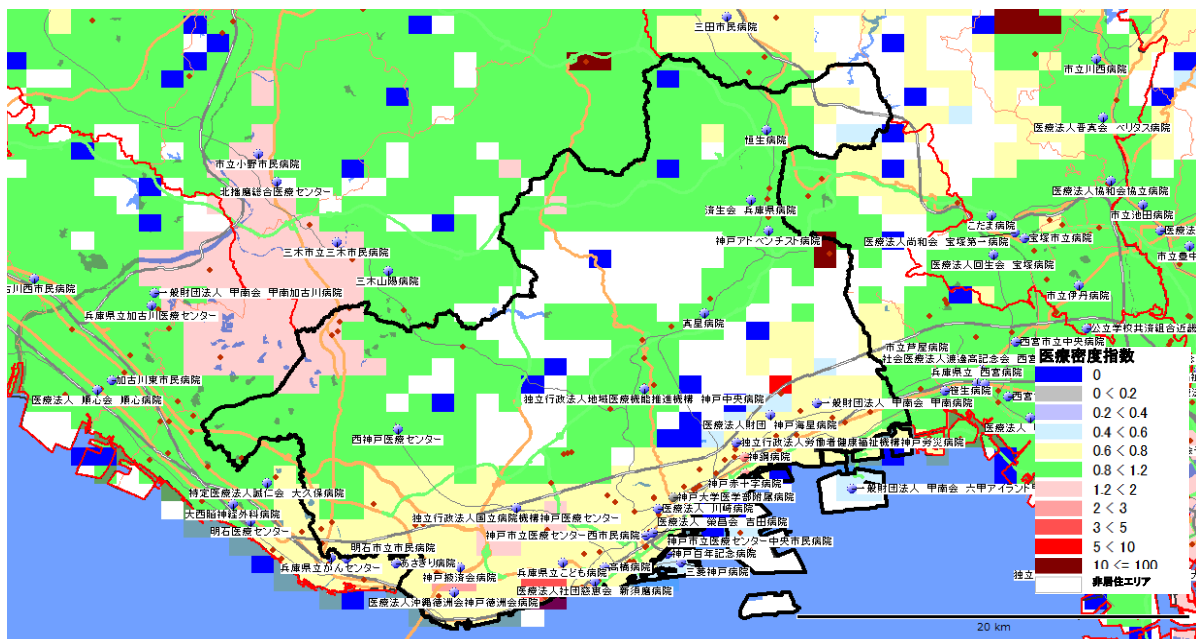


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表28-1-1 急性期医療密度指数マップ



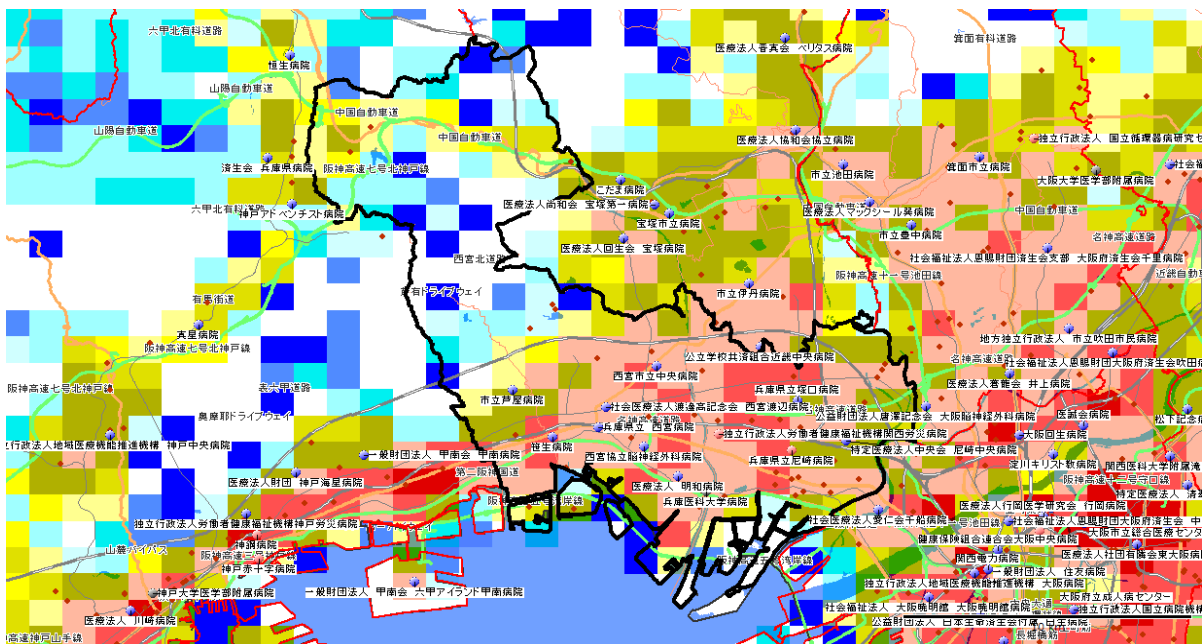
図表28-1-2 慢性期医療密度指数マップ



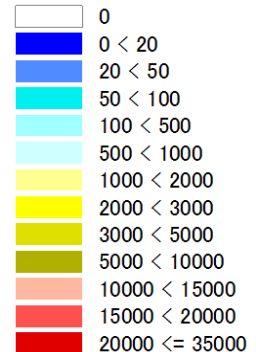
# 28-2. はんしんみなみ 阪神南医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [尼崎市](#) [西宮市](#) [芦屋市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （阪神南医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 阪神南(尼崎市)は、総人口約1026千人(2015年推計)、面積168km<sup>2</sup>、人口密度は6115人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 阪神南の総人口は2025年に990千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に895千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の119千人が、2025年にかけて164千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には164千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 阪神南の一人当たり医療費(国保)は329千円(偏差値53)、介護給付費は246千円(偏差値48)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 阪神南の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.01、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.14で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が56(病院医師数53、診療所医師数62)と、総医師数、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は60と多い。阪神南には、年間全身麻酔件数が2000例以上の兵庫医科大学病院(I群・救命)、関西労災病院(II群)、1000例以上の兵庫県立西宮病院(II群・救命)、西宮協立脳神経外科病院(III群)、明和病院(III群)、兵庫県立尼崎総合医療センター(II群・救命)、500例以上の西宮市立中央病院(III群)、尼崎中央病院(III群)、笹生病院(III群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は41で精神病床数は少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は66で診療所数は非常に多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 阪神南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10501人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5735床(偏差値41)、高齢者住宅等が4766床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7578人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム52、軽費ホーム45、グループホーム43、サ高住56である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値66と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値65と多い。介護職員(在宅)の合計は、3184人(75歳以上1000人当たりの偏差値74)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-61%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。



## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

阪神南医療圏の総人口は、2005年1018574人が、2015年に1026295人と1%増加し、2025年の人口が989640人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

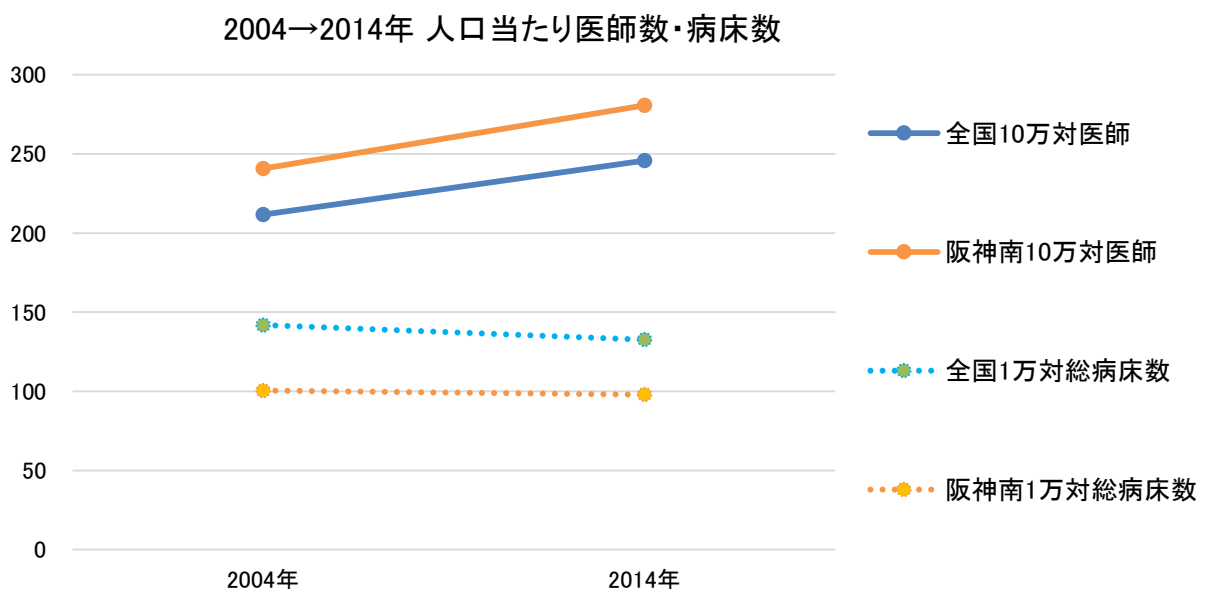
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が53(人口10万人当たり5.2病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に52(人口10万人当たり5.1病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が1012(人口10万人当たり99診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に1125(人口10万人当たり110診療所(全国平均79)偏差値66)と、113診療所が増加した。

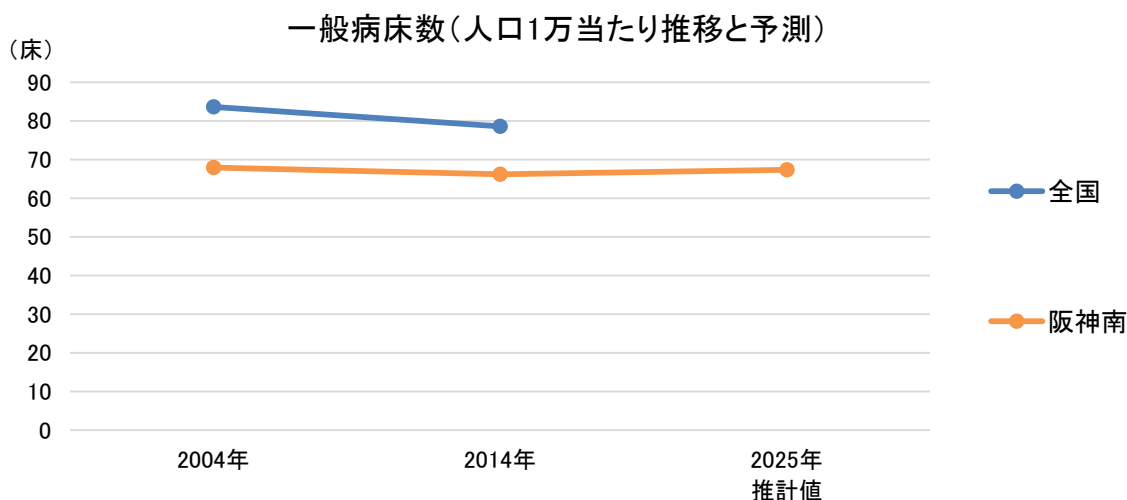
2004年の総病床数が10233床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値43)であったが、2014年に10054床(人口1万人当たり98(全国平均133)偏差値44)と、179床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が2452人(人口10万人当たり241人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に2880人(人口10万人当たり281人(全国平均246人)偏差値54)と、428人の増加、率にして17%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



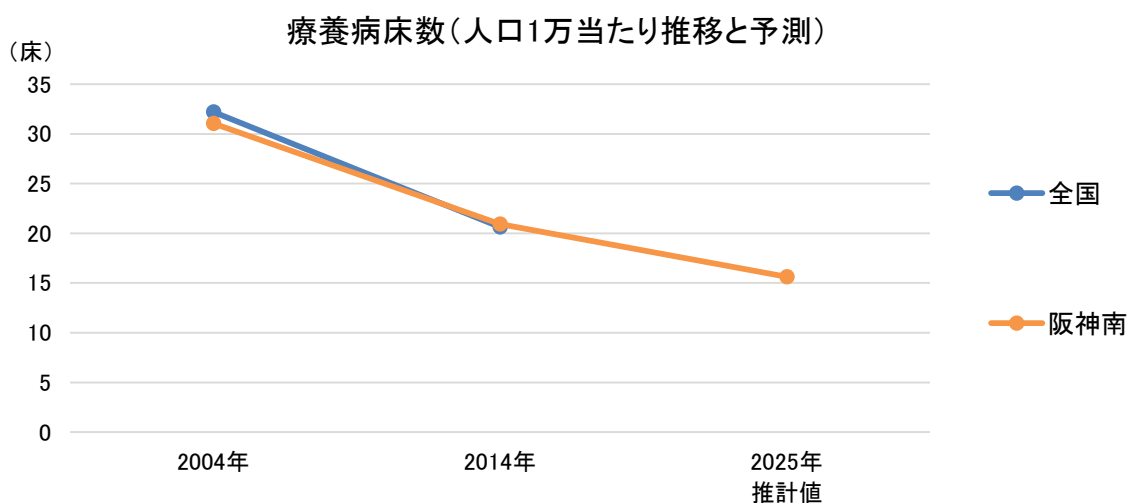
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6918床(人口1万人当たり68(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に6799床(人口1万人当たり66(全国平均79)偏差値45)と、119床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6668床(2025年の推計人口1万人当たり67)になることが予想される。



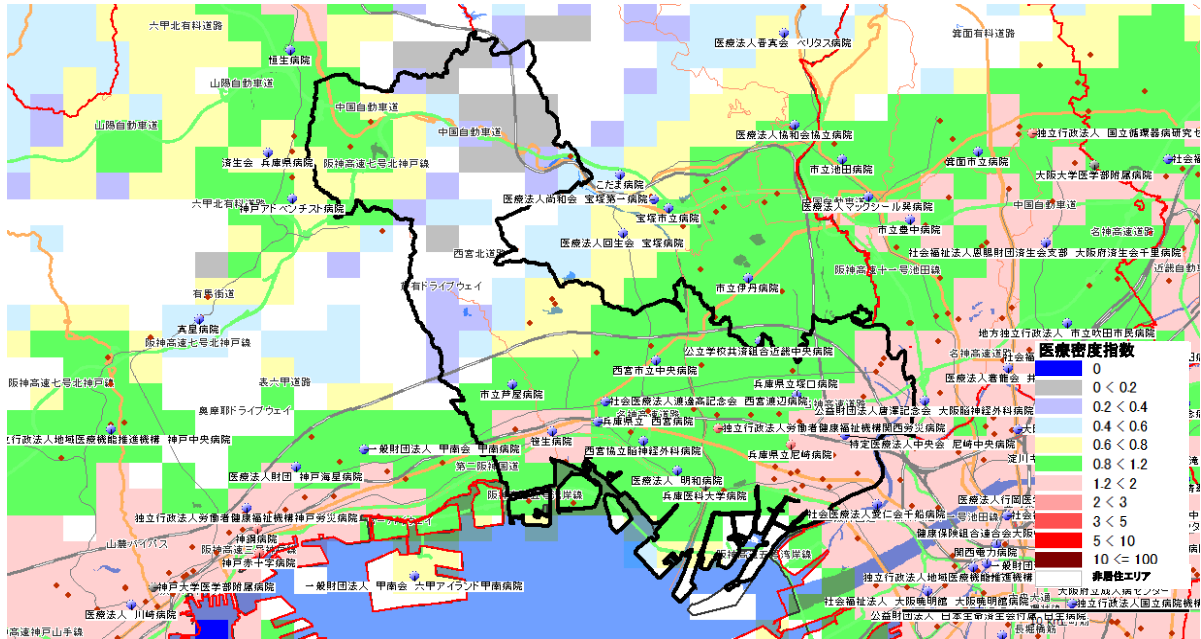
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2435床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に2495床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、60床の増加、率にして2%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2561床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。

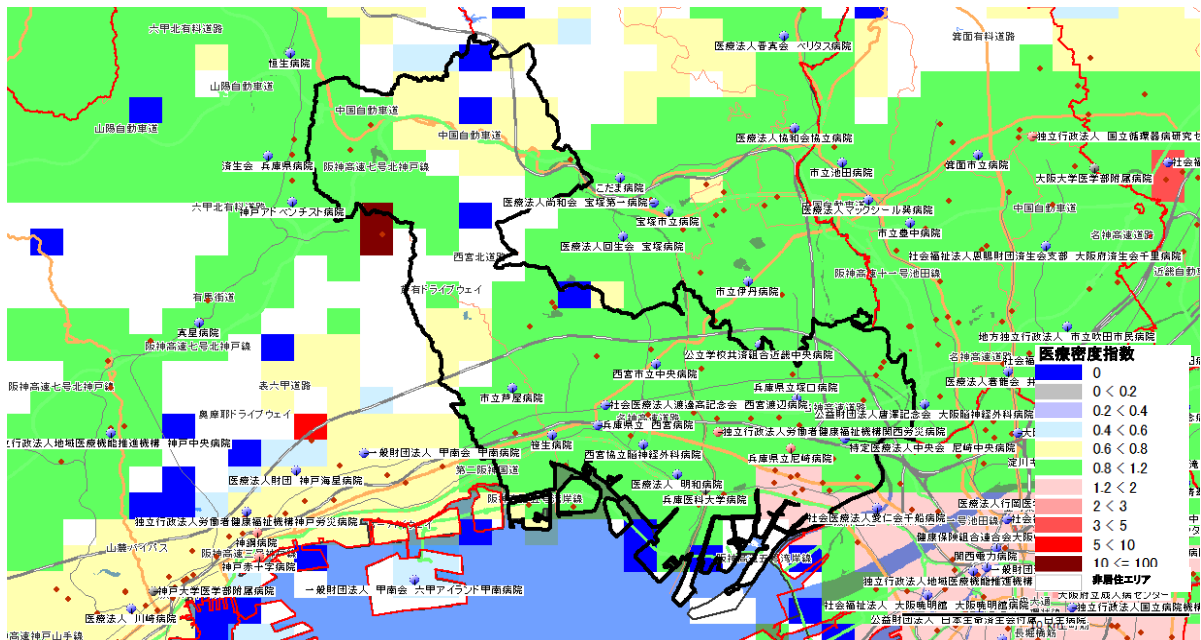


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表28-2-1 急性期医療密度指数マップ



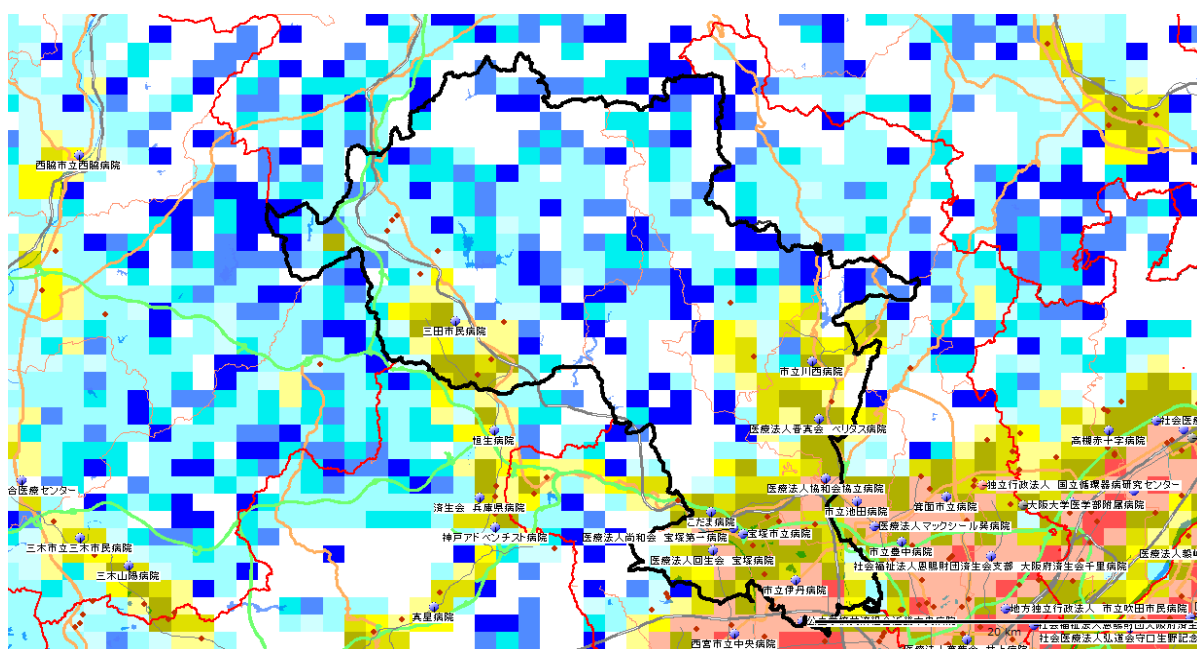
図表28-2-2 慢性期医療密度指数マップ



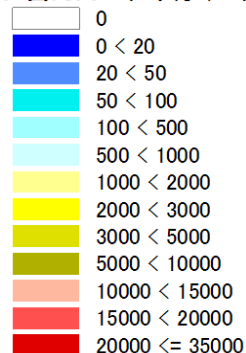
# 28-3. はんしんきた 阪神北医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [伊丹市](#) [宝塚市](#) [川西市](#) [三田市](#)  
[猪名川町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (阪神北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 阪神北(伊丹市)は、総人口約725千人(2015年推計)、面積481km<sup>2</sup>、人口密度は1508人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 阪神北の総人口は2025年に703千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に637千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の86千人が、2025年にかけて125千人へと増加し(2015年比+45%)、2040年には133千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 阪神北の一人当たり医療費(国保)は326千円(偏差値52)、介護給付費は223千円(偏差値42)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

### 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 阪神北の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.8で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が45(病院医師数42、診療所医師数51)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。阪神北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立伊丹病院(Ⅲ群)、近畿中央病院(Ⅲ群)、ベリタス病院(Ⅲ群)、三田市民病院(Ⅲ群)、宝塚市立病院(Ⅲ群)、500例以上の協立病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 阪神北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9998人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4471床(偏差値44)、高齢者住宅等が5527床(偏差値67)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5798人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム68、軽費ホーム56、グループホーム43、サ高住63である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1122人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-34%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

阪神北医療圏の総人口は、2005年713373人が、2015年に725224人と2%増加し、2025年の人口が702851人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

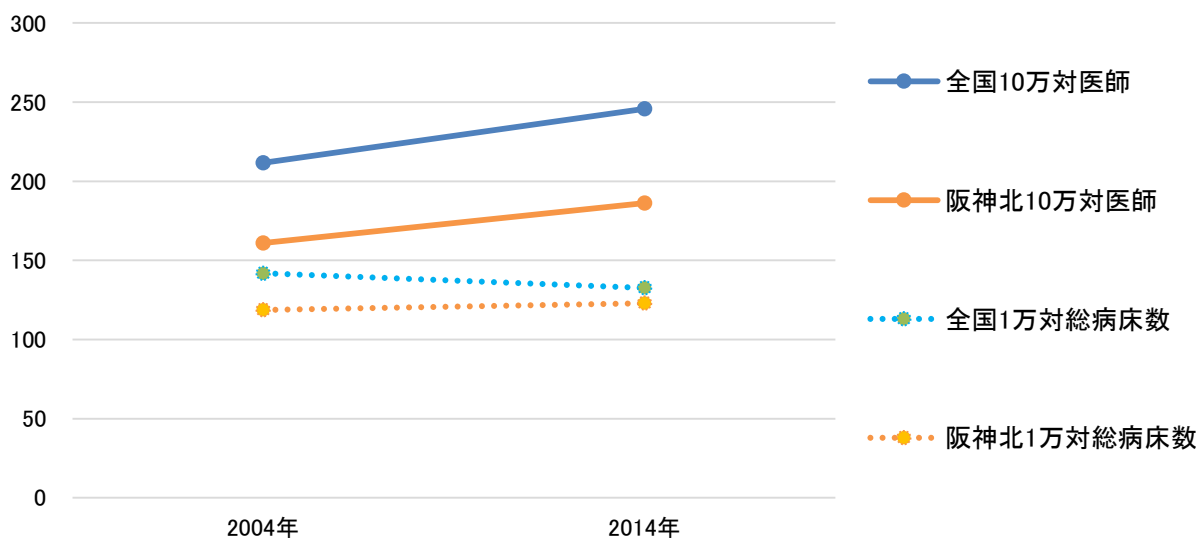
2004年の病院数が33(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に35(人口10万人当たり4.8病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が526(人口10万人当たり74診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に589(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、63診療所が増加した。

2004年の総病床数が8469床(人口1万人当たり119(全国平均142)偏差値46)であったが、2014年に8916床(人口1万人当たり123(全国平均133)偏差値48)と、447床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

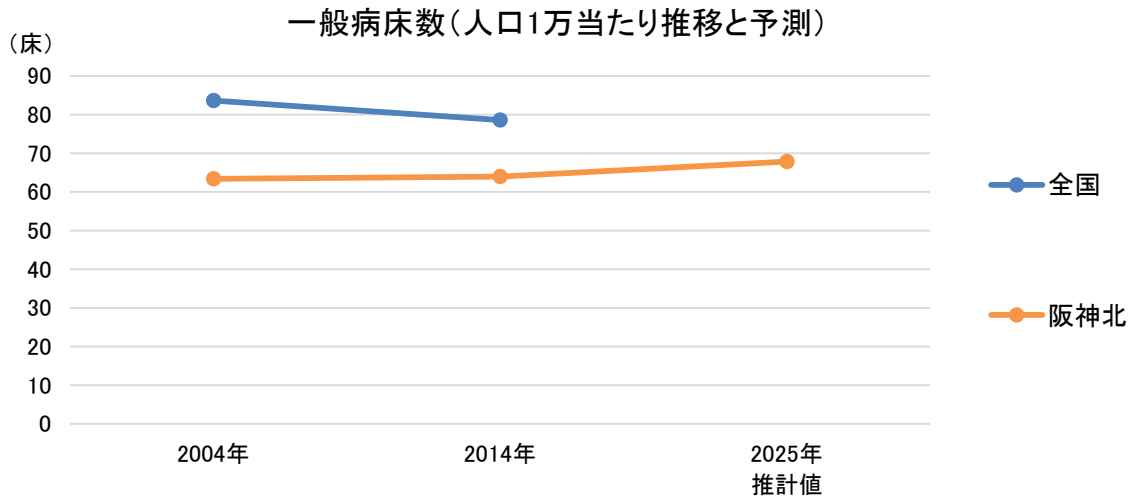
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1149人(人口10万人当たり161人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に1351人(人口10万人当たり186人(全国平均246人)偏差値44)と、202人の増加、率にして18%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



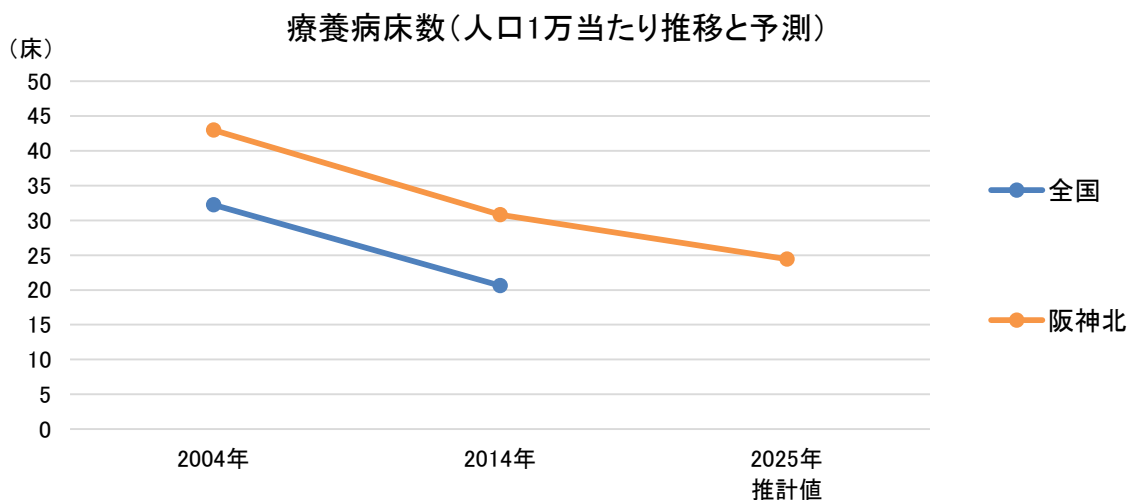
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4523床(人口1万人当たり63(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に4641床(人口1万人当たり64(全国平均79)偏差値45)と、118床の増加、率にして3%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には4771床(2025年の推計人口1万人当たり68)になることが予想される。



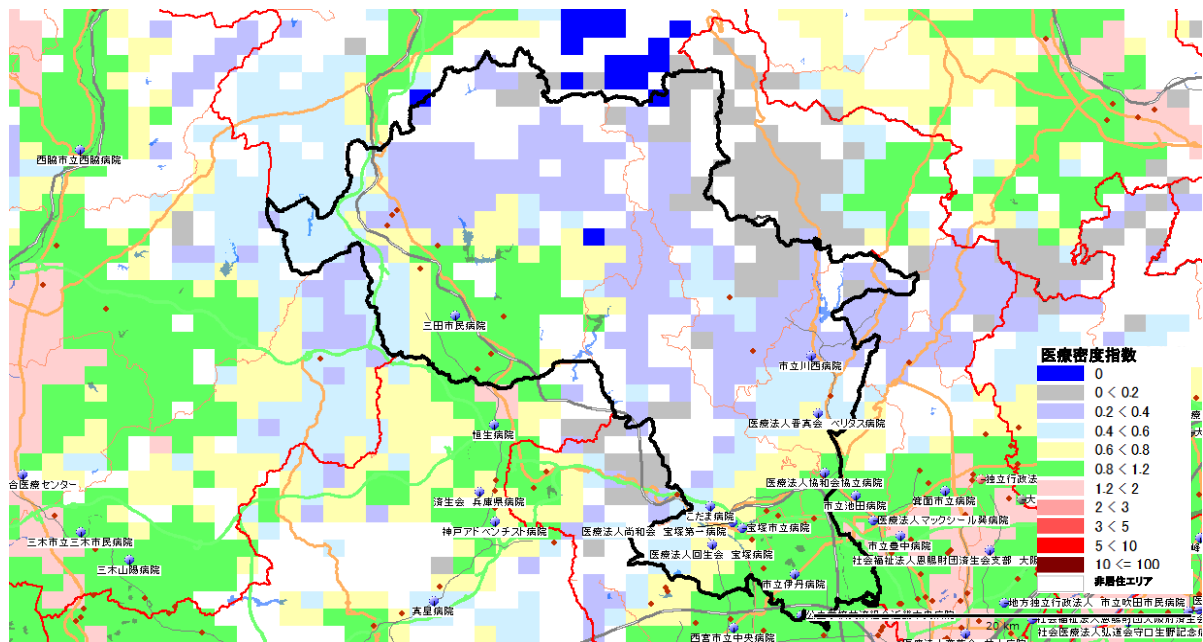
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2264床(75歳以上1000人当たり43(全国平均32)偏差値56)であったが、2014年に2643床(75歳以上1000人当たり31(全国平均21)偏差値59)と、379床の増加、率にして17%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3060床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。

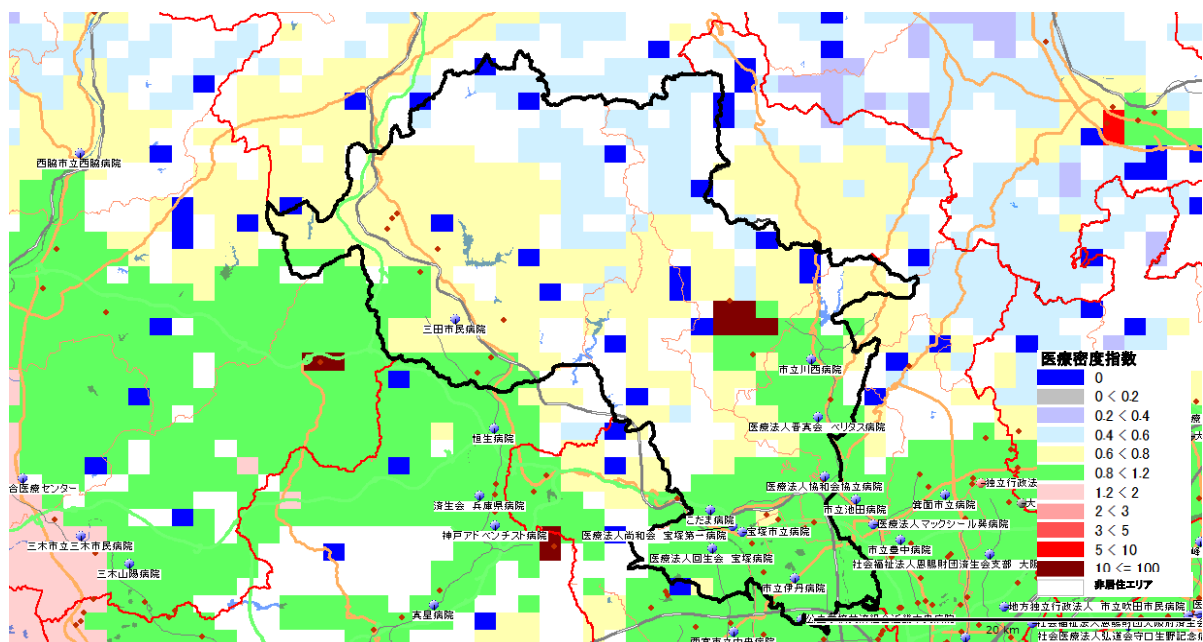


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表28-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-3-2 慢性期医療密度指数マップ

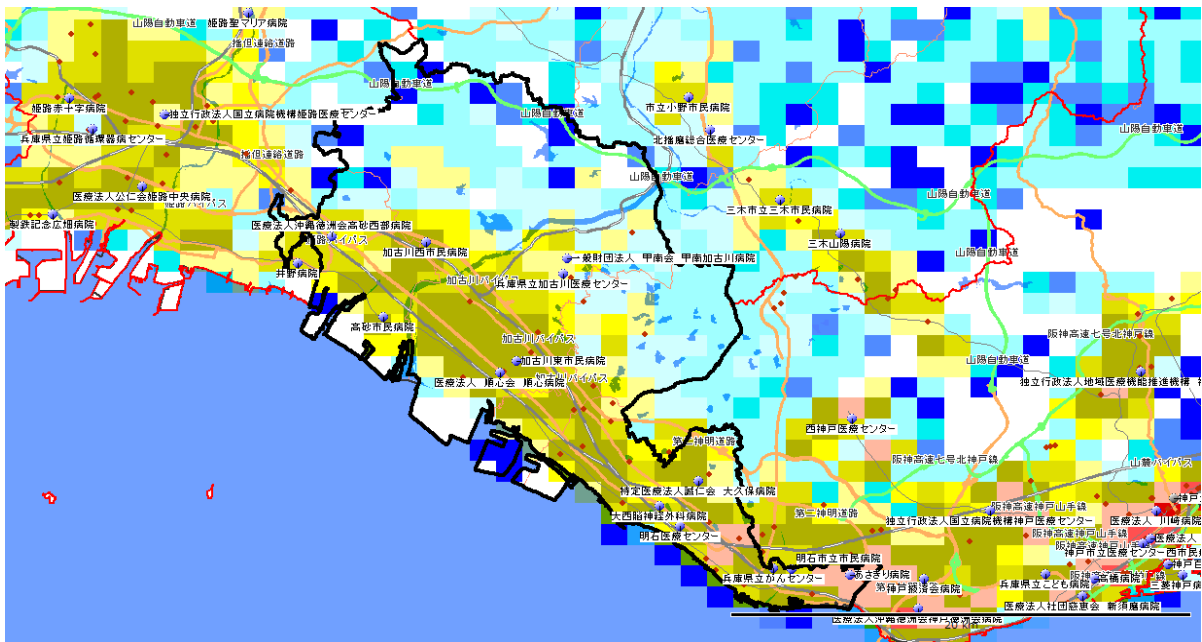




# 28-4. ひがしはりま 東播磨医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [明石市](#) [加古川市](#) [高砂市](#) [稲美町](#)  
[播磨町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （東播磨医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 東播磨(明石市)は、総人口約706千人(2015年推計)、面積266km<sup>2</sup>、人口密度は2652人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 東播磨の総人口は2025年に670千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に587千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の77千人が、2025年にかけて115千人へと増加し(2015年比+49%)、2040年には111千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 東播磨の一人当たり医療費(国保)は342千円(偏差値56)、介護給付費は221千円(偏差値41)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 東播磨の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.95、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.32で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数47)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。東播磨には、年間全身麻酔件数が2000例以上の兵庫県立がんセンター(Ⅲ群)、1000例以上の兵庫県立加古川医療センター(Ⅲ群・救命)、加古川西市民病院(Ⅲ群)、明石医療センター(Ⅲ群)、500例以上の加古川東市民病院(Ⅲ群)、高砂市民病院(Ⅲ群)、明石市立市民病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 東播磨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6683人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4131床(偏差値45)、高齢者住宅等が2552床(偏差値46)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5475人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住58である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、992人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-75%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

東播磨医療圏の総人口は、2005年718429人が、2015年に706032人と2%減少し、2025年の人口が670123人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

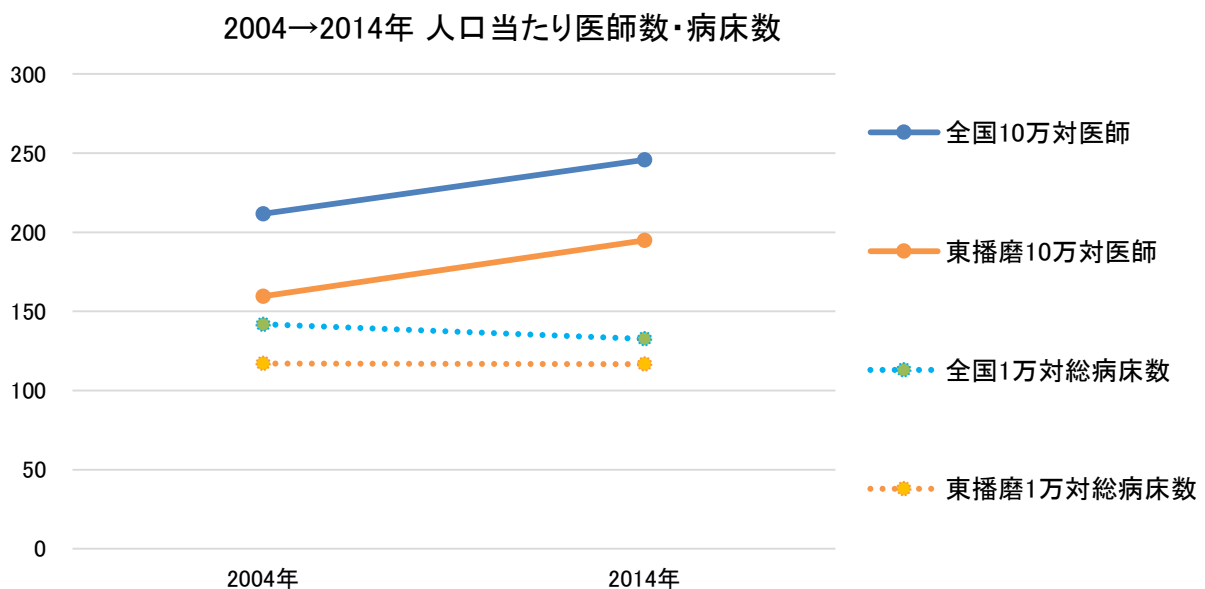
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が41(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に40(人口10万人当たり5.7病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が505(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に525(人口10万人当たり74診療所(全国平均79)偏差値47)と、20診療所が増加した。

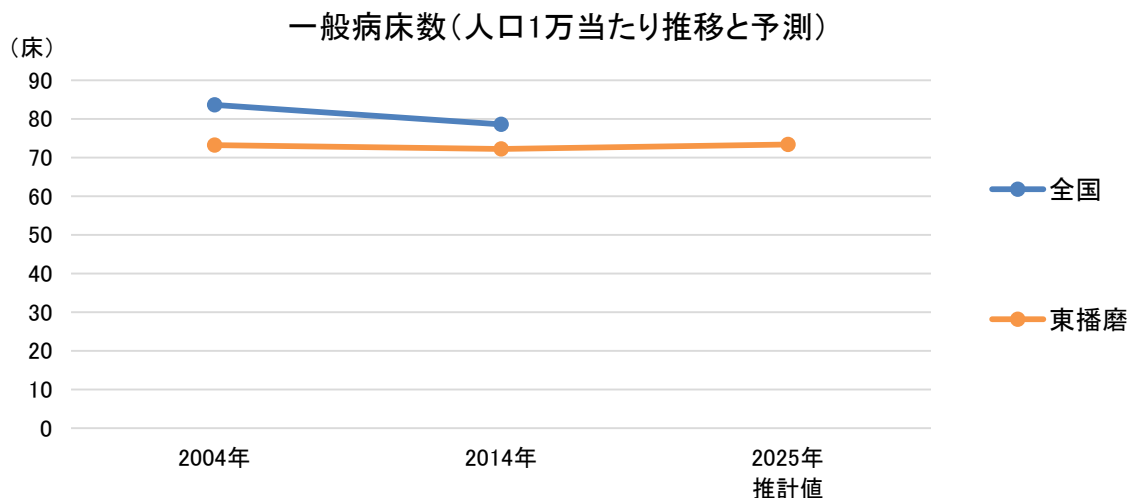
2004年の総病床数が8412床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値46)であったが、2014年に8238床(人口1万人当たり117(全国平均133)偏差値47)と、174床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1147人(人口10万人当たり160人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に1376人(人口10万人当たり195人(全国平均246人)偏差値45)と、229人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



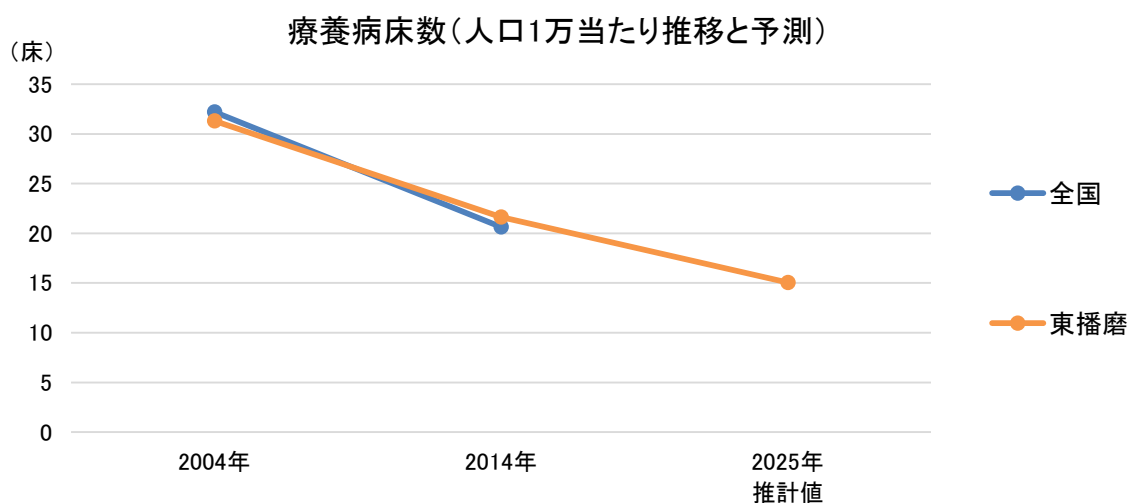
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5260床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に5098床(人口1万人当たり72(全国平均79)偏差値48)と、162床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4920床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



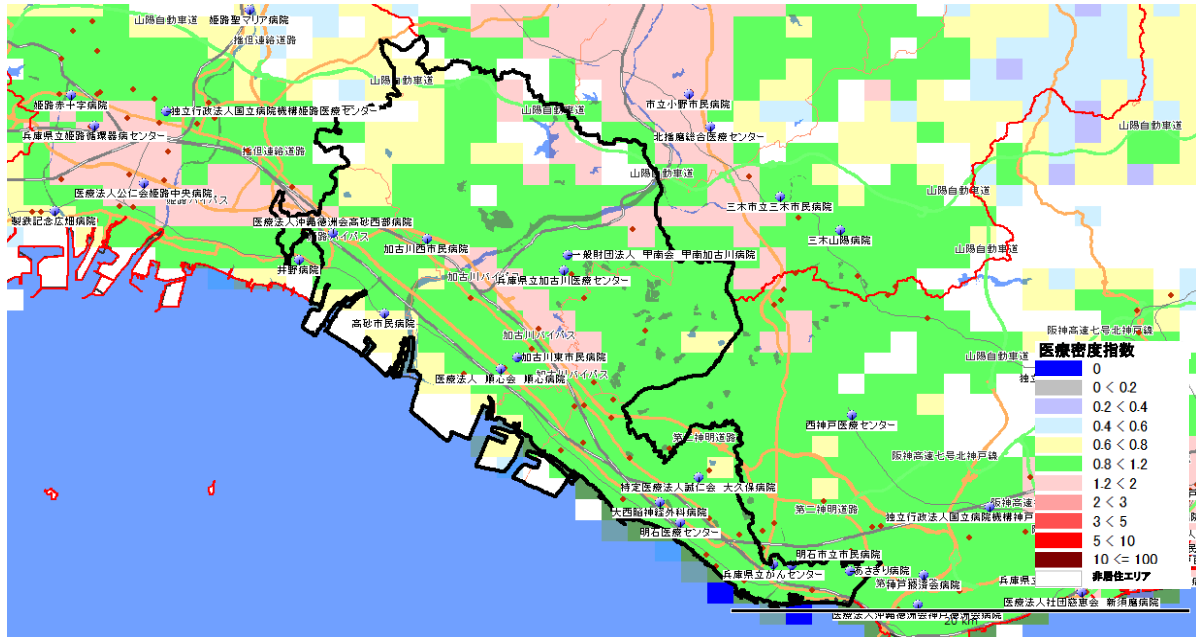
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1616床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に1670床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、54床の増加、率にして3%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1729床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。

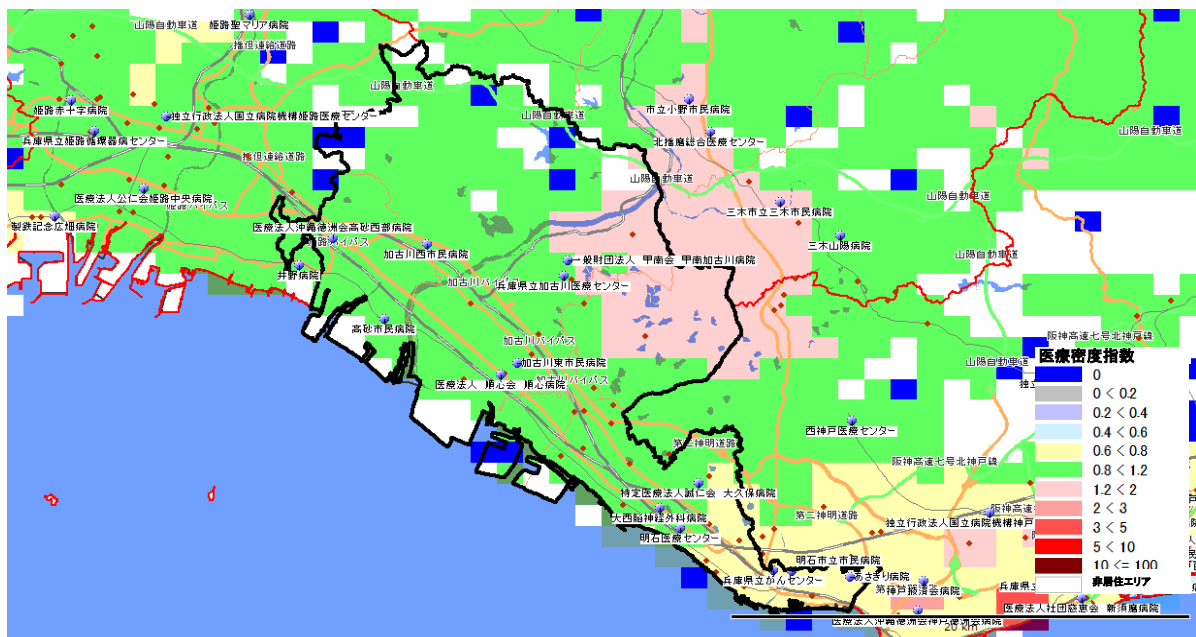


### 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表28-4-1 急性期医療密度指数マップ



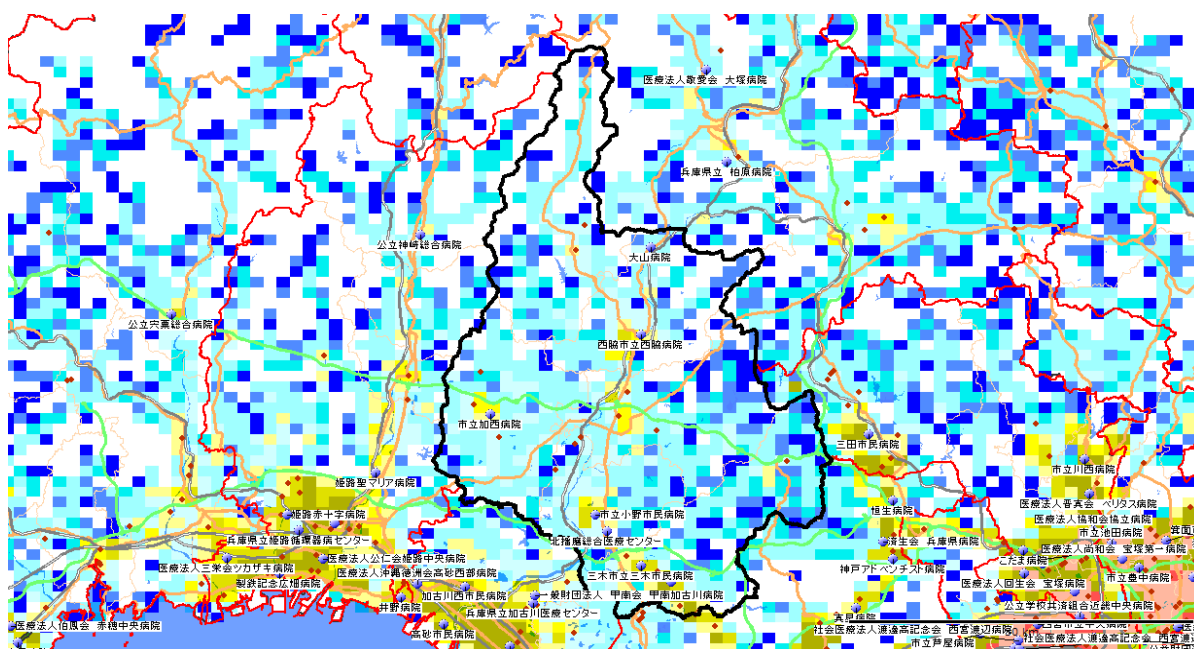
図表28-4-2 慢性期医療密度指数マップ



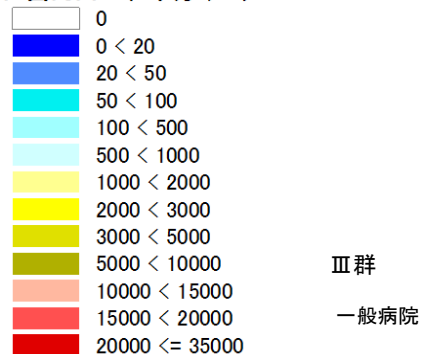
# 28-5. きたはりま 北播磨医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [西脇市](#) [加東市](#) [三木市](#) [多可町](#) [小野市](#) [加西市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



## (北播磨医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 北播磨(西脇市)は、総人口約276千人(2015年推計)、面積896km<sup>2</sup>、人口密度は308人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 北播磨の総人口は2025年に255千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に217千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の40千人が、2025年にかけて52千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には50千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 北播磨の一人当たり医療費(国保)は351千円(偏差値58)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 北播磨の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.03、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.77で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数48、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。北播磨には、年間全身麻酔件数が1000例以上の北播磨総合医療センター(Ⅲ群)、500例以上の西脇市立西脇病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 北播磨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3495人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2706床(偏差値56)、高齢者住宅等が789床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3143人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム39、軽費ホーム54、グループホーム42、サ高住44である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、275人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-28%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

北播磨医療圏の総人口は、2005年291745人が、2015年に276276人と5%減少し、2025年の人口が255476人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

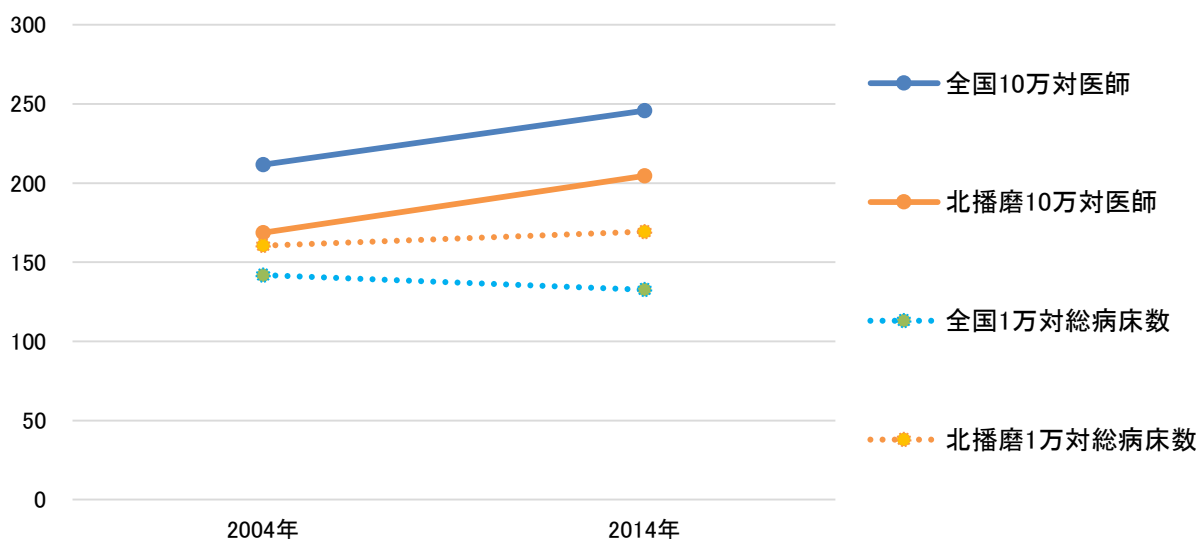
2004年の病院数が21(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に22(人口10万人当たり8病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が212(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に203(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、9診療所が減少した。

2004年の総病床数が4683床(人口1万人当たり161(全国平均142)偏差値53)であったが、2014年に4676床(人口1万人当たり169(全国平均133)偏差値56)と、7床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が492人(人口10万人当たり169人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に565人(人口10万人当たり205人(全国平均246人)偏差値46)と、73人の増加、率にして15%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

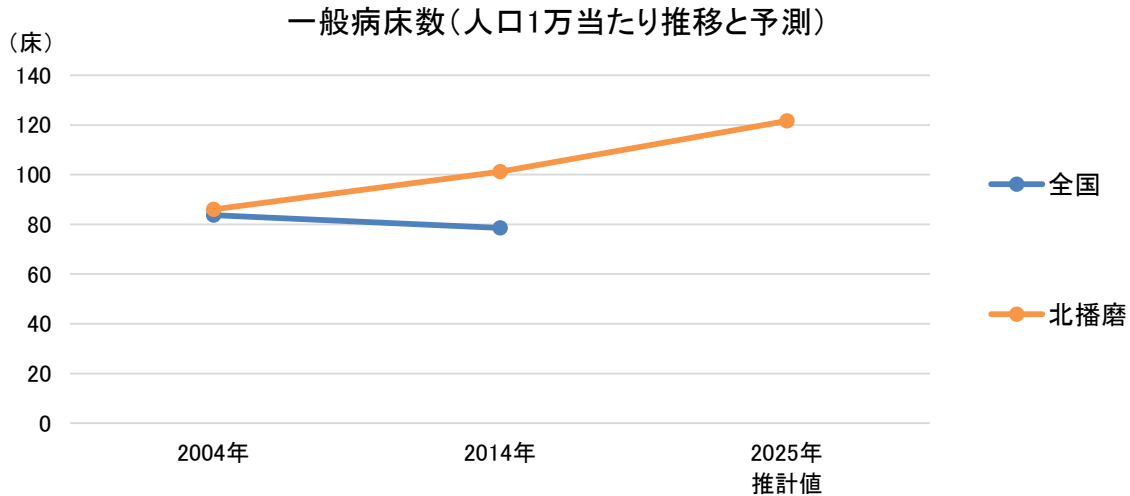
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数





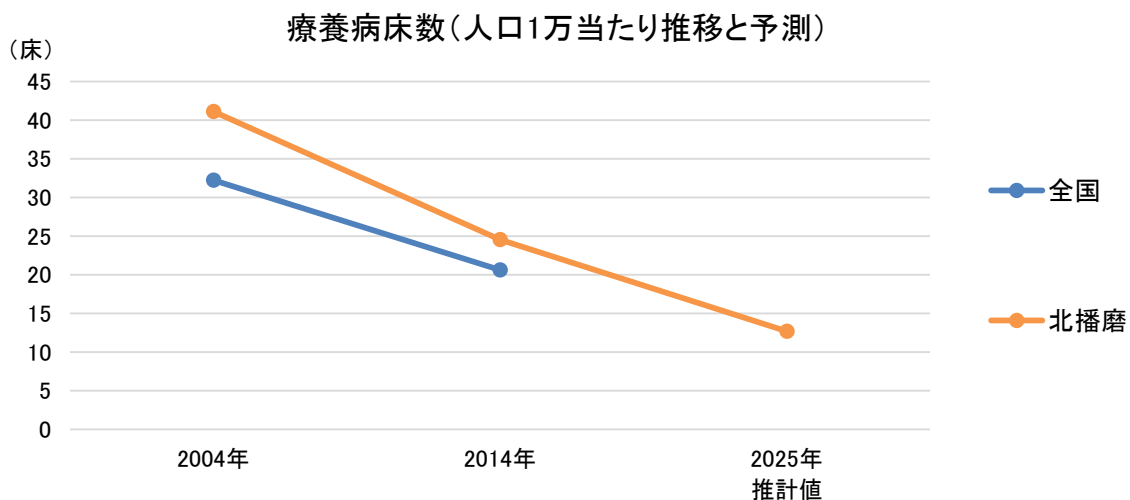
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2510床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に2794床(人口1万人当たり101(全国平均79)偏差値58)と、284床の増加、率にして11%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3106床(2025年の推計人口1万人当たり122)になることが予想される。



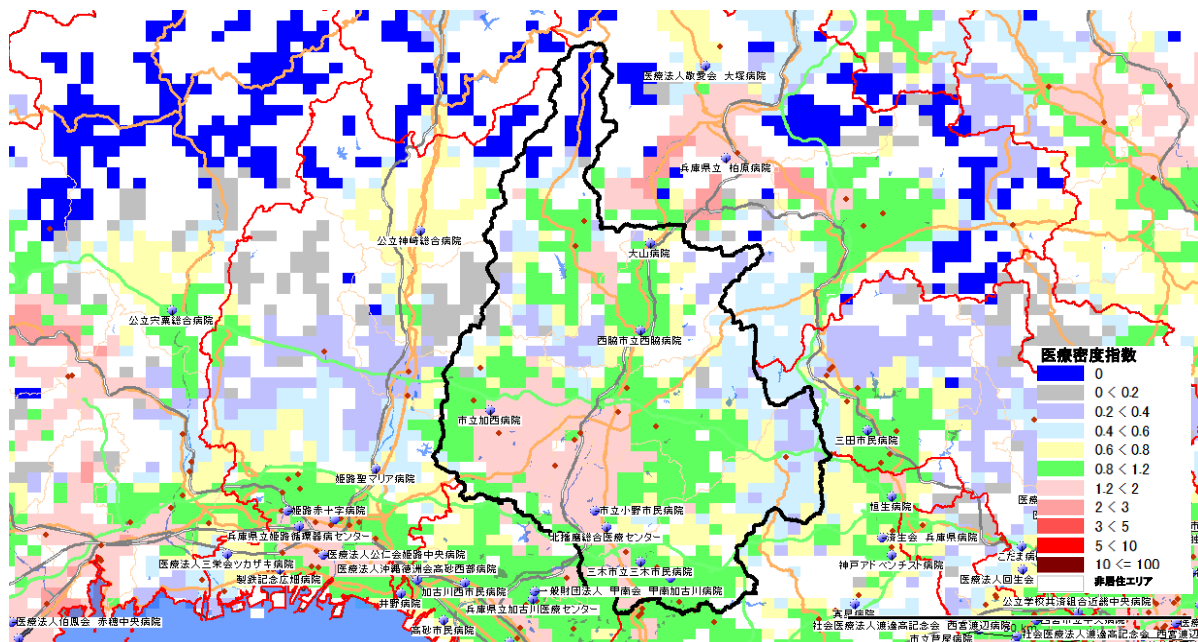
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1270床(75歳以上1000人当たり41(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に979床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値53)と、291床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には659床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。

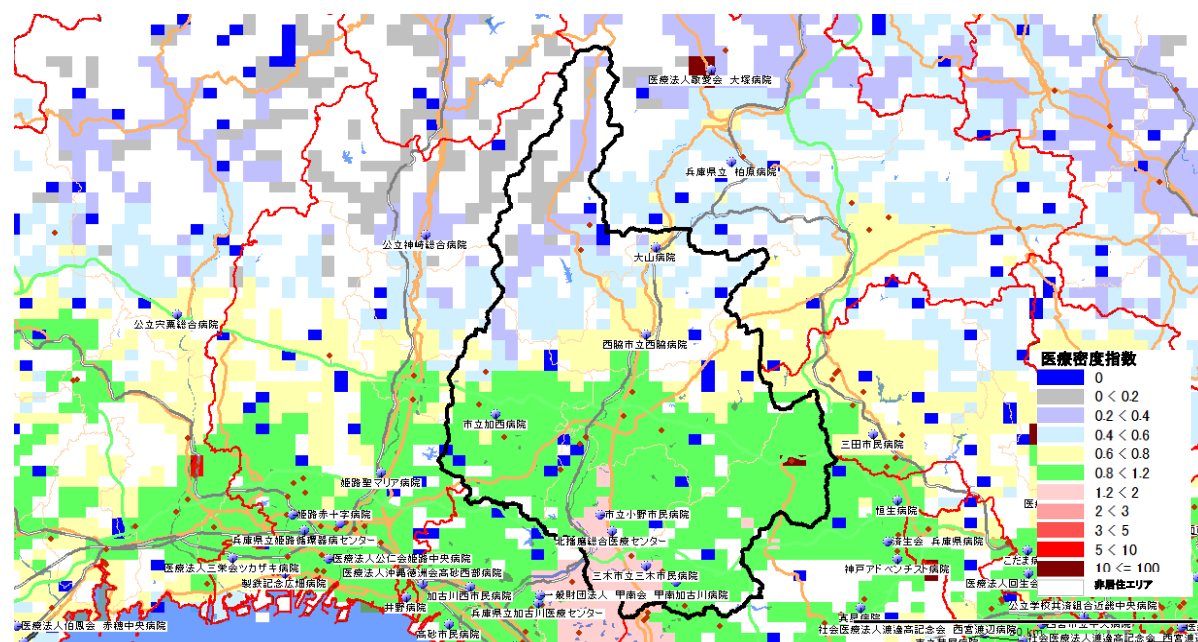


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表28-5-1 急性期医療密度指数マップ



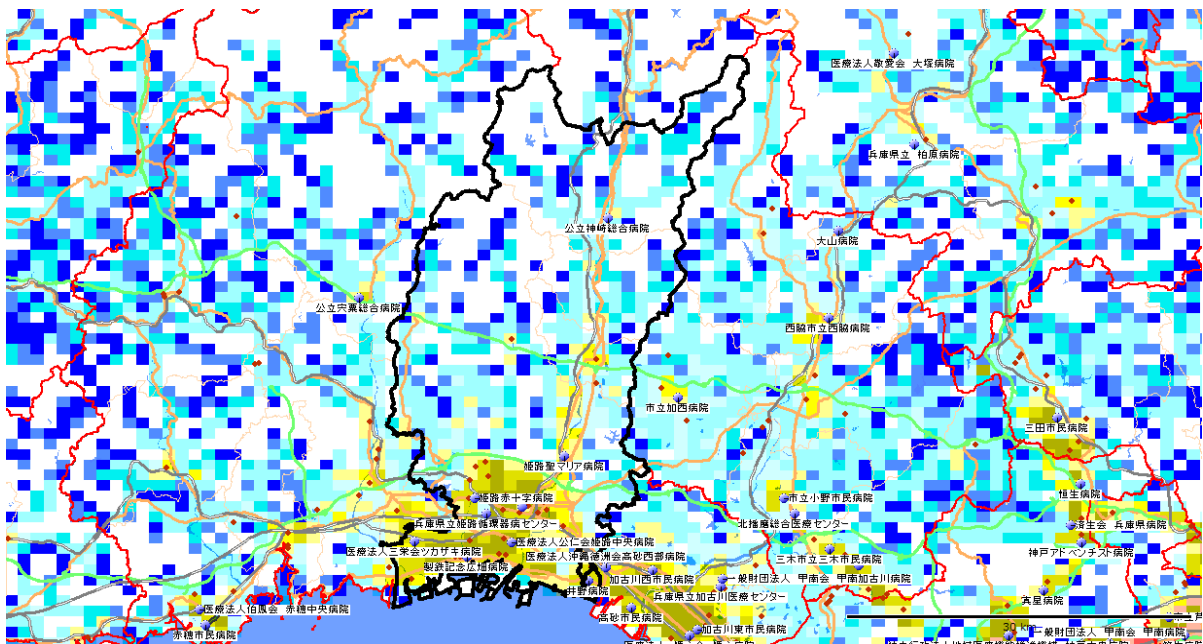
図表28-5-2 慢性期医療密度指数マップ



# 28-6. なかはりま 中播磨医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [姫路市](#) [市川町](#) [福崎町](#) [神河町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （中播磨医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 中播磨(姫路市)は、総人口約573千人(2015年推計)、面積865km<sup>2</sup>、人口密度は662人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 中播磨の総人口は2025年に544千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に483千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の67千人が、2025年にかけて90千人へと増加し(2015年比+34%)、2040年には87千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 中播磨の一人当たり医療費(国保)は326千円(偏差値52)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 中播磨の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.98で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は56と多い。中播磨には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構姫路医療センター(Ⅲ群)、姫路赤十字病院(Ⅱ群)、製鉄記念広畑病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の姫路聖マリア病院(Ⅲ群)、500例以上のツカザキ病院(Ⅲ群)、兵庫県立姫路循環器病センター(Ⅲ群・救命)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 中播磨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6363人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3817床(偏差値48)、高齢者住宅等が2546床(偏差値49)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4800人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム46、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住62である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、1128人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-48%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

中播磨医療圏の総人口は、2005年584128人が、2015年に572838人と2%減少し、2025年の人口が544321人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

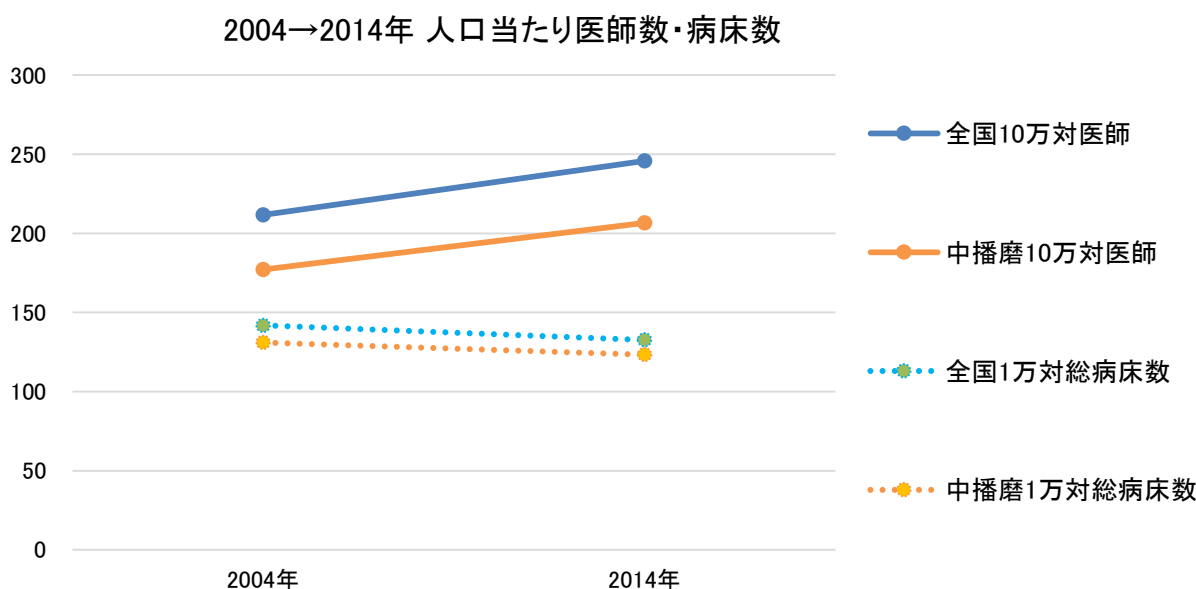
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が41(人口10万人当たり7病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に38(人口10万人当たり6.6病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が428(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に426(人口10万人当たり74診療所(全国平均79)偏差値47)と、2診療所が減少した。

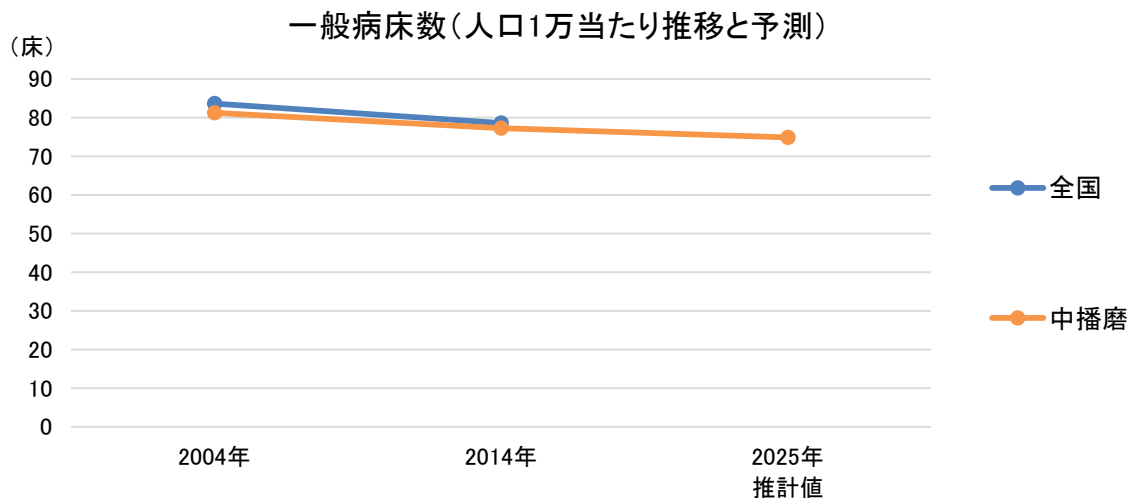
2004年の総病床数が7657床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に7069床(人口1万人当たり123(全国平均133)偏差値48)と、588床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1035人(人口10万人当たり177人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に1183人(人口10万人当たり207人(全国平均246人)偏差値46)と、148人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



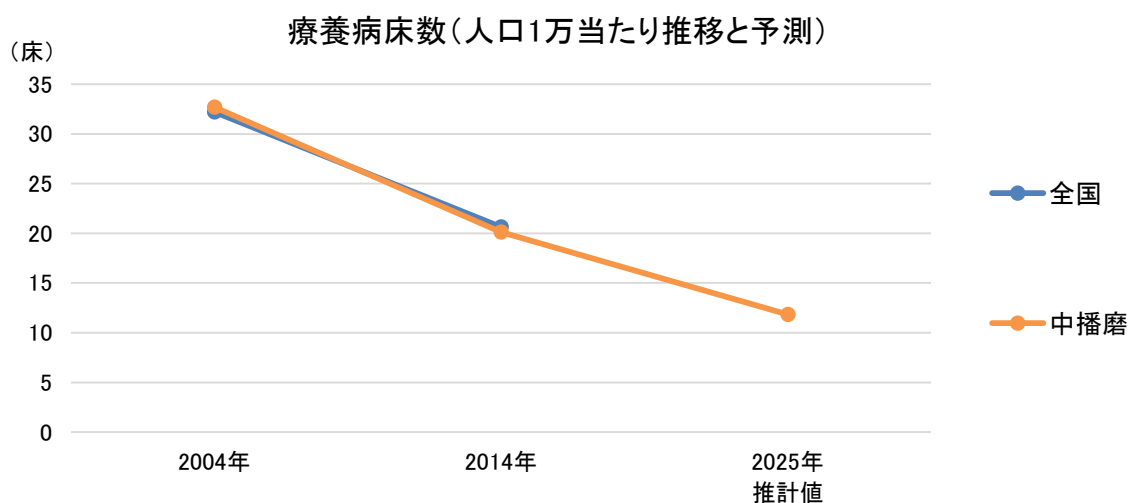
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4747床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に4427床(人口1万人当たり77(全国平均79)偏差値50)と、320床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4075床(2025年の推計人口1万人当たり75)になることが予想される。



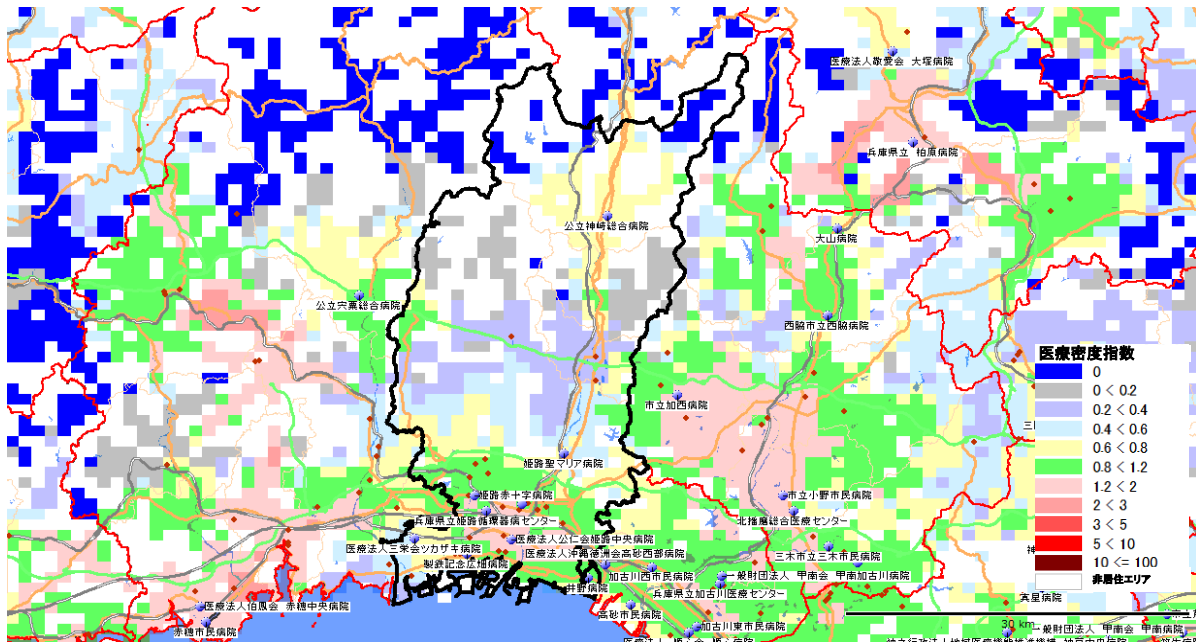
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1593床(75歳以上1000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に1340床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値50)と、253床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1062床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

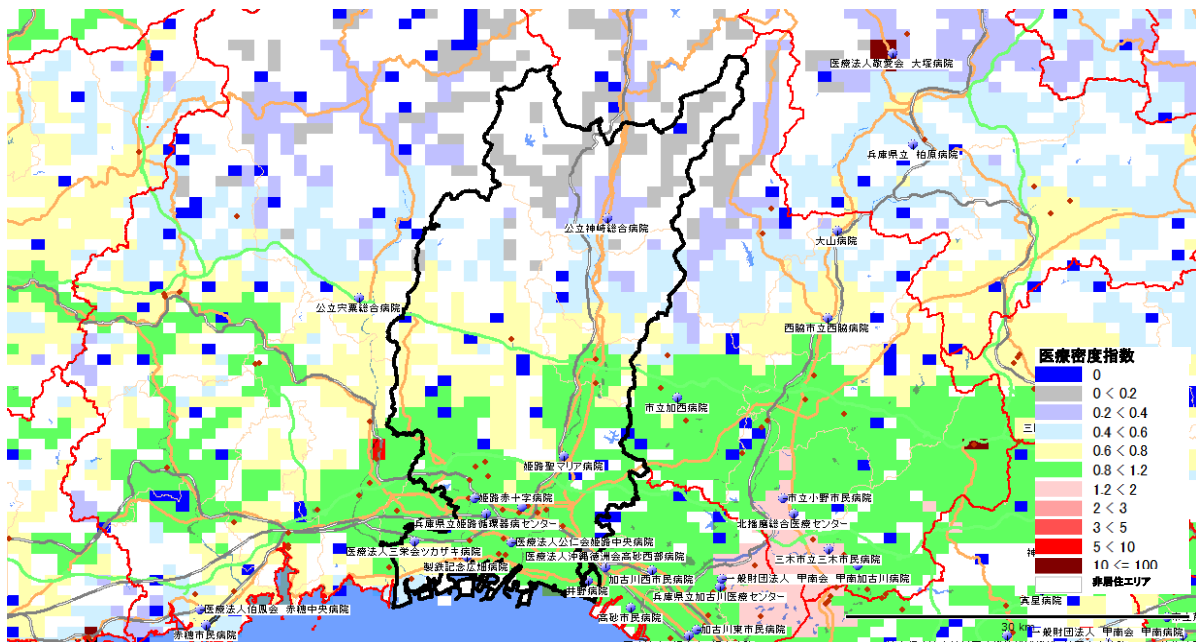


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表28-6-1 急性期医療密度指数マップ



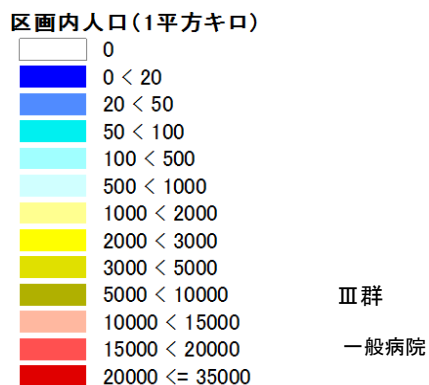
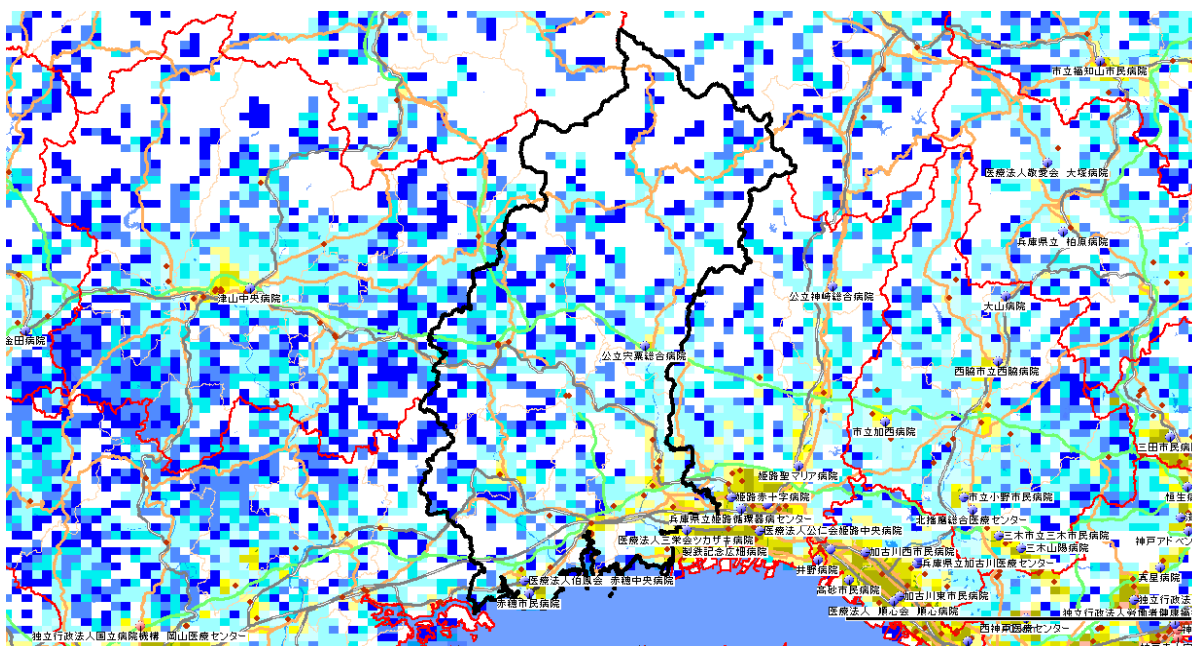
図表28-6-2 慢性期医療密度指数マップ



# にしはりま 28-7. 西播磨医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [相生市](#) [赤穂市](#) [宍粟市](#) [たつの市](#)  
[太子町](#) [上郡町](#) [佐用町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)





## (西播磨医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 西播磨(相生市)は、総人口約263千人(2015年推計)、面積1567km<sup>2</sup>、人口密度は168人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 西播磨の総人口は2025年に241千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に203千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の38千人が、2025年にかけて48千人へと増加し(2015年比+26%)、2040年には44千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 西播磨の一人当たり医療費(国保)は354千円(偏差値59)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 西播磨の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.01、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.72で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が42(病院医師数43、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。西播磨には、年間全身麻酔件数が500例以上の赤穂市民病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 西播磨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3539人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2728床(偏差値59)、高齢者住宅等が811床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3106人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム64、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム39、軽費ホーム44、グループホーム44、サ高住46である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、324人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-13%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

西播磨医療圏の総人口は、2005年280302人が、2015年に262832人と6%減少し、2025年の人口が240956人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

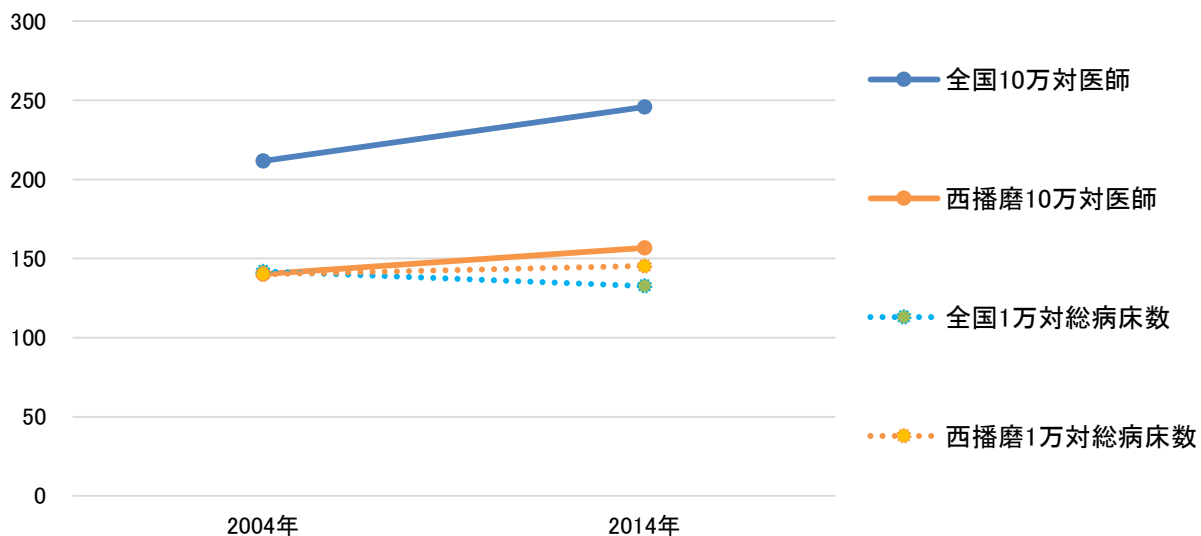
2004年の病院数が23(人口10万人当たり8.2病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2014年に24(人口10万人当たり9.1病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が181(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に187(人口10万人当たり71診療所(全国平均79)偏差値46)と、6診療所が増加した。

2004年の総病床数が3927床(人口1万人当たり140(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に3818床(人口1万人当たり145(全国平均133)偏差値52)と、109床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

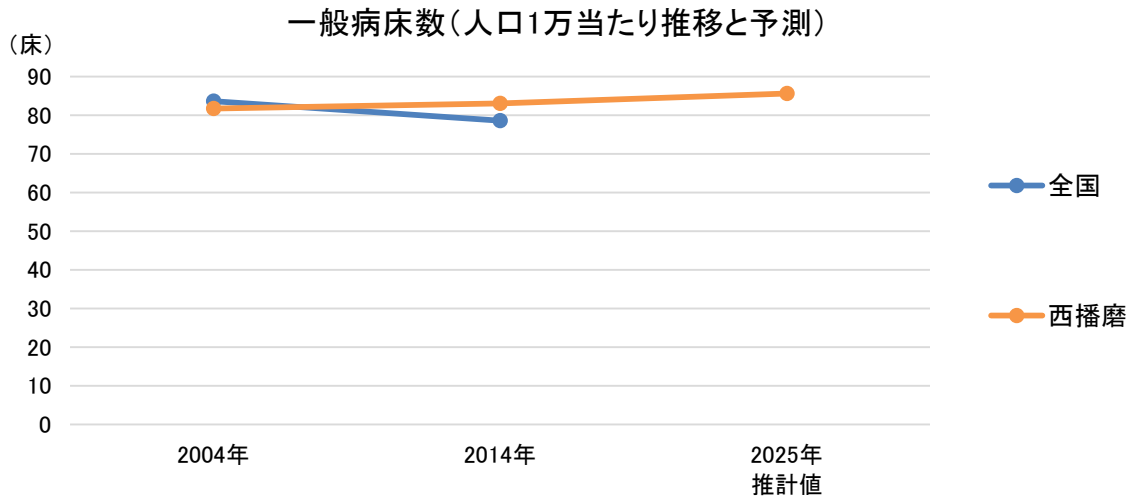
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が393人(人口10万人当たり140人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に412人(人口10万人当たり157人(全国平均246人)偏差値41)と、19人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



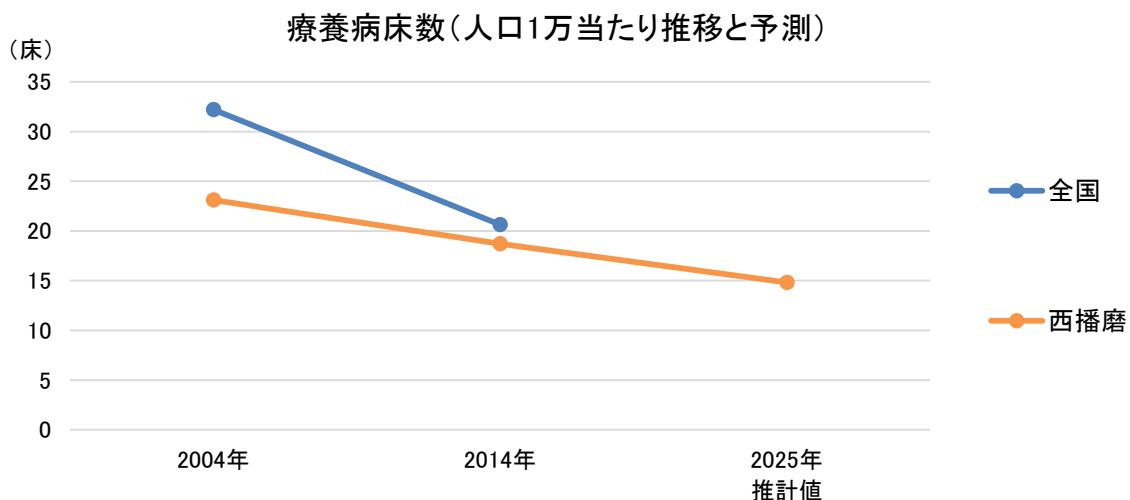
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2291床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に2183床(人口1万人当たり83(全国平均79)偏差値52)と、108床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2064床(2025年の推計人口1万人当たり86)になることが予想される。



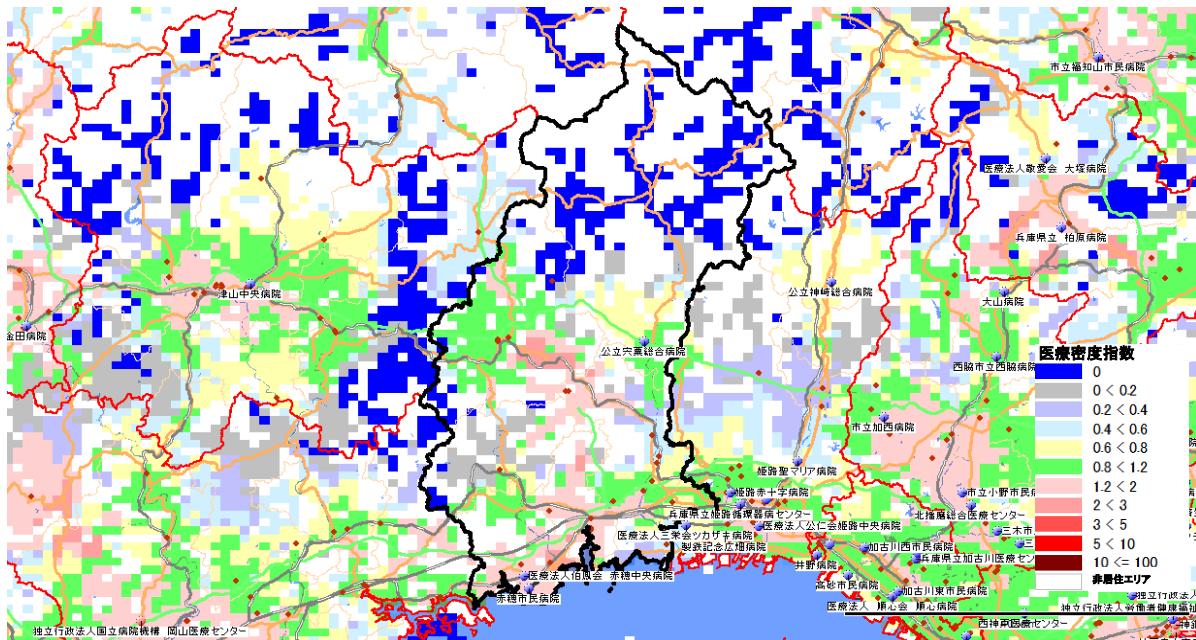
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が714床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に713床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、1床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には712床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。

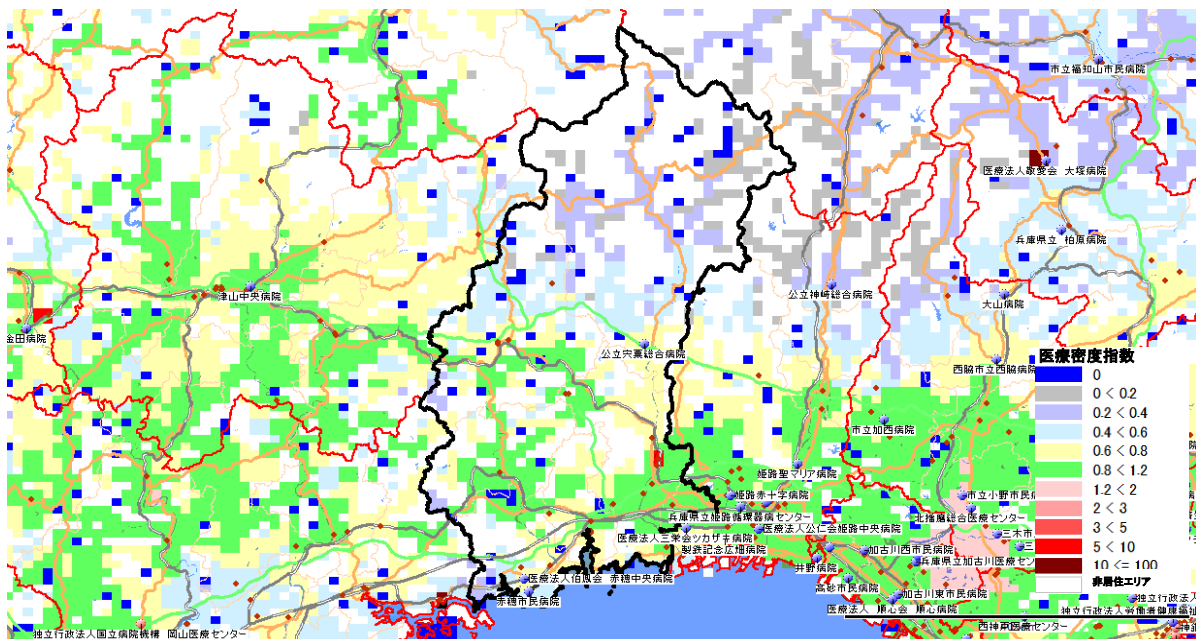


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表28-7-1 急性期医療密度指数マップ



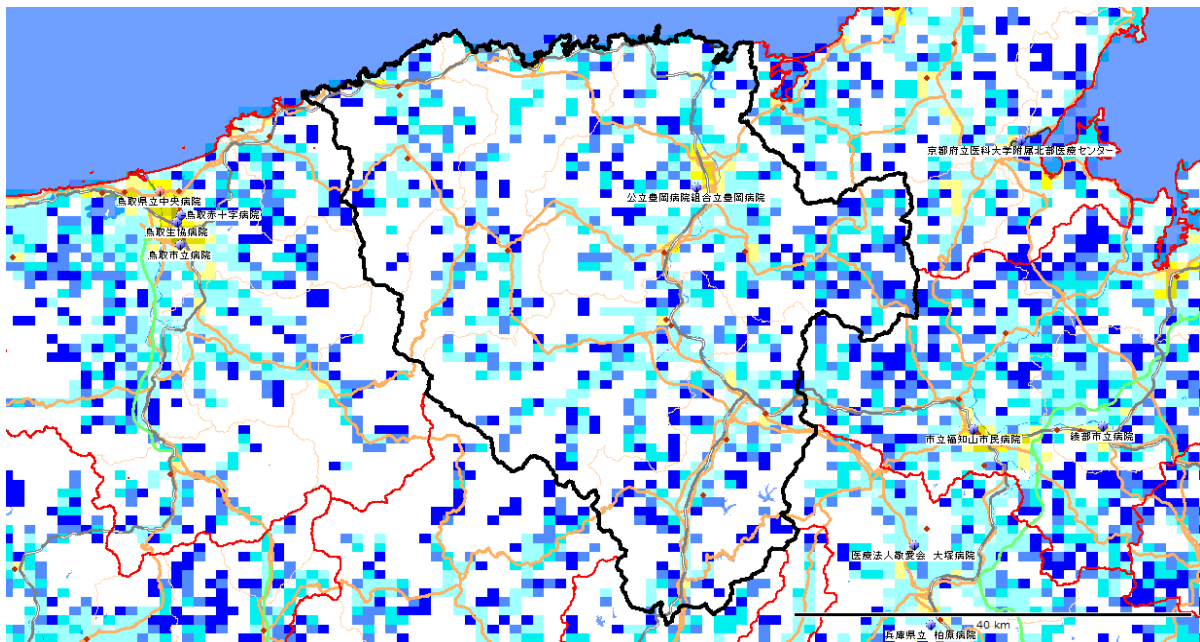
図表28-7-2 慢性期医療密度指数マップ



# 28-8. たじま 但馬医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [豊岡市](#) [養父市](#) [朝来市](#) [香美町](#)  
[新温泉町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （但馬医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 但馬（豊岡市）は、総人口約171千人（2015年推計）、面積2134km<sup>2</sup>、人口密度は80人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 但馬の総人口は2025年に151千人へと減少し（2015年比-12%）、2040年に122千人へと減少する（2025年比-19%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の32千人が、2025年にかけて35千人へと増加し（2015年比+9%）、2040年には33千人へと減少する（2025年比-6%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 但馬の一人当たり医療費（国保）は334千円（偏差値54）、介護給付費は291千円（偏差値60）であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 但馬の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.95、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.51で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が44（病院医師数44、診療所医師数46）と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。但馬には、年間全身麻酔件数が1000例以上の豊岡病院（Ⅲ群・救命）がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 但馬の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、2859人（75歳以上1000人当たりの偏差値44）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2207床（偏差値57）、高齢者住宅等が652床（偏差値37）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、2728人（75歳以上1000人当たりの偏差値57）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム67、介護療養型医療施設41、有料老人ホームなし（偏差値37）、軽費ホーム52、グループホーム53、サ高住38である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員（在宅）の合計は、222人（75歳以上1000人当たりの偏差値38）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-1%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

但馬医療圏の総人口は、2005年191211人が、2015年に170503人と11%減少し、2025年の人口が150718人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

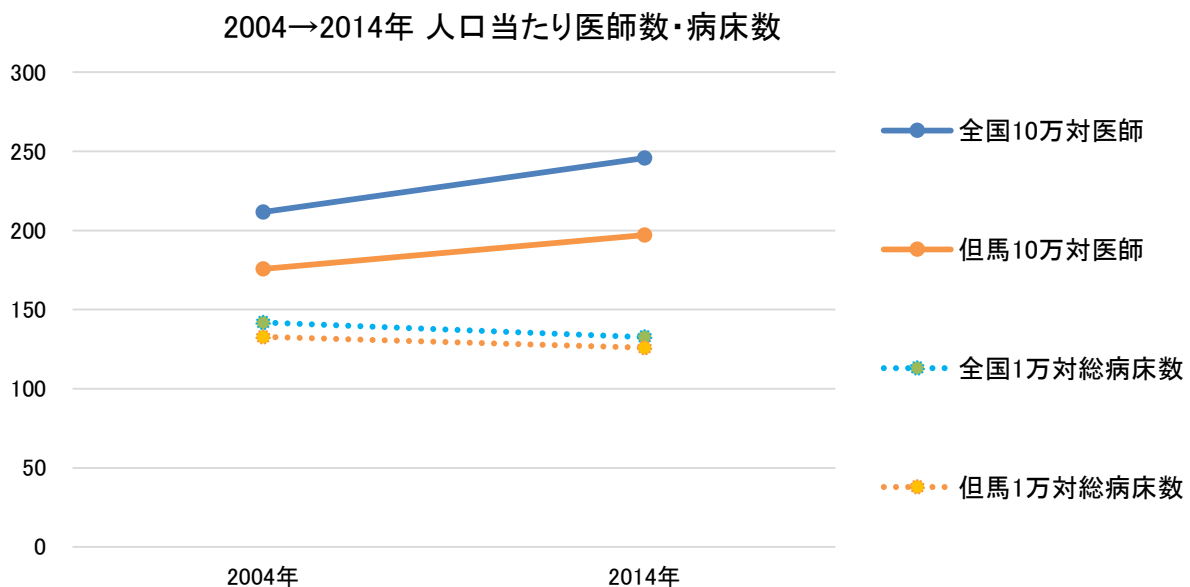
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が14(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に12(人口10万人当たり7病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が133(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に138(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、5診療所が増加した。

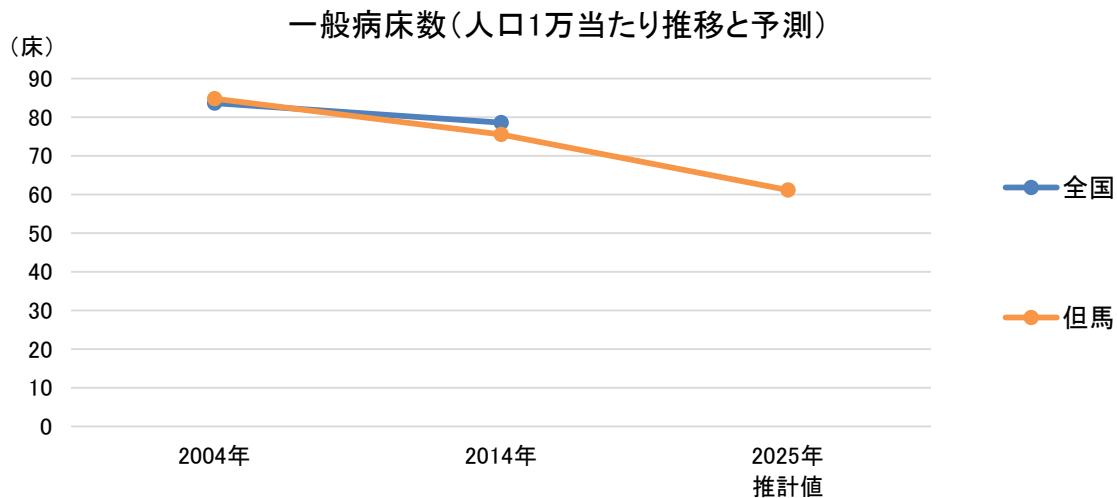
2004年の総病床数が2539床(人口1万人当たり133(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に2147床(人口1万人当たり126(全国平均133)偏差値49)と、392床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が336人(人口10万人当たり176人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に336人(人口10万人当たり197人(全国平均246人)偏差値45)と、増減がなかった(全国平均15%の増加)。



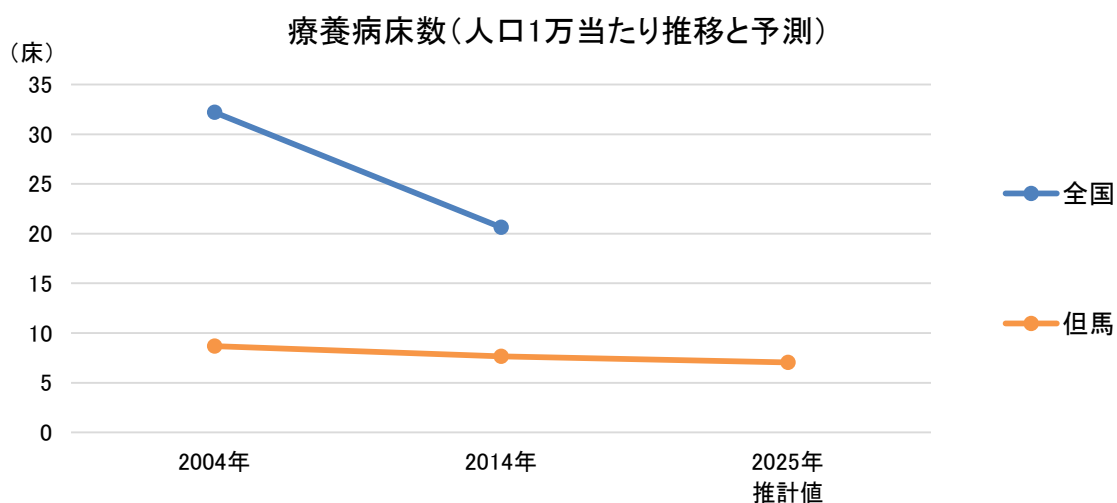
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1621床(人口1万人当たり85(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に1288床(人口1万人当たり76(全国平均79)偏差値49)と、333床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には922床(2025年の推計人口1万人当たり61)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

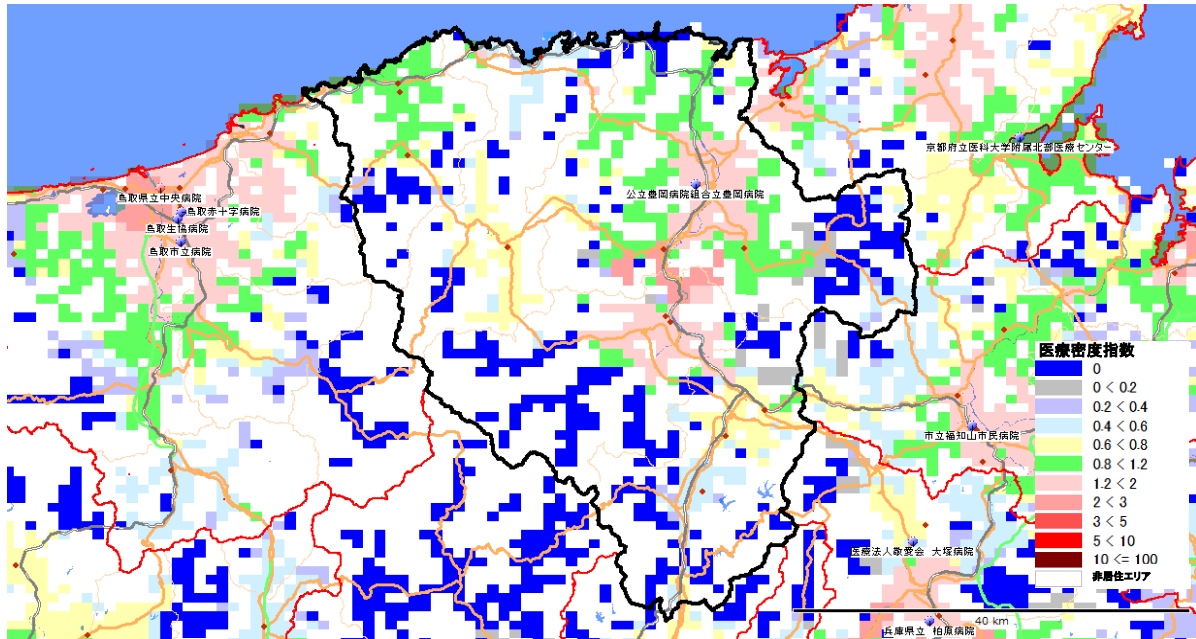
2004年の療養病床(病院+診療所)が245床(75歳以上1000人当たり9(全国平均32)偏差値37)であったが、2014年に246床(75歳以上1000人当たり8(全国平均21)偏差値39)と、1床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には247床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。



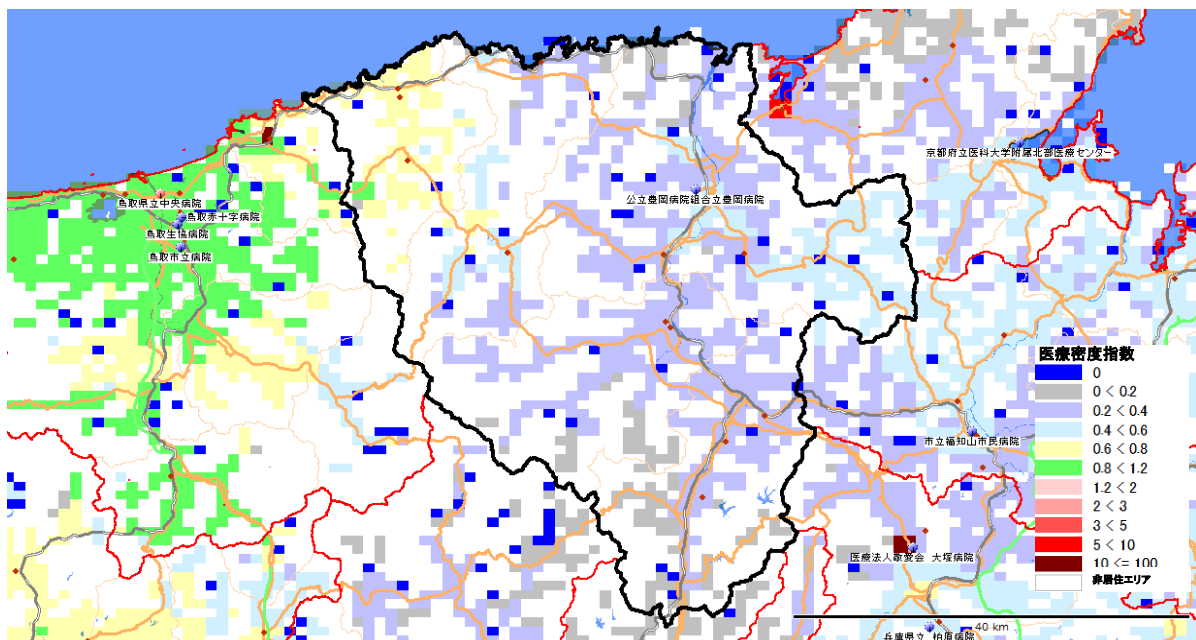


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表28-8-1 急性期医療密度指数マップ



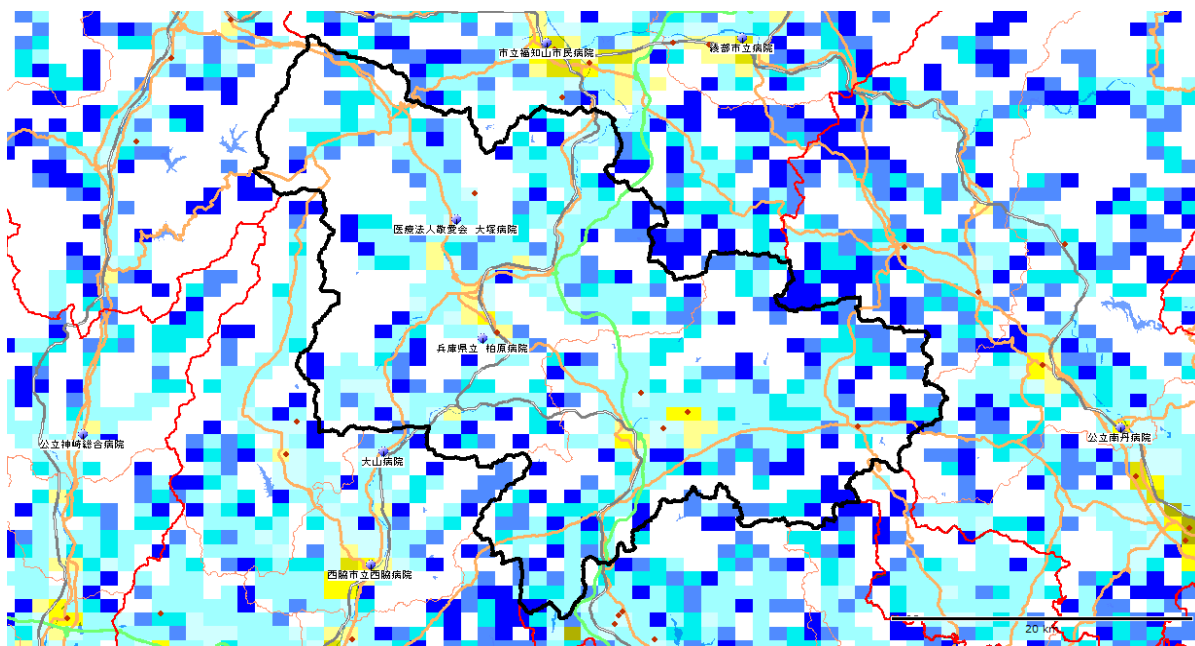
図表28-8-2 慢性期医療密度指数マップ



# 28-9. たんば 丹波医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [篠山市](#) [丹波市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (丹波医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 丹波(篠山市)は、総人口約106千人(2015年推計)、面積871km<sup>2</sup>、人口密度は121人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 丹波の総人口は2025年に95千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に78千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて21千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には20千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 丹波の一人当たり医療費(国保)は354千円(偏差値58)、介護給付費は255千円(偏差値50)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 丹波の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.92、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.61で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が43(病院医師数44、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。丹波には、年間全身麻酔件数が500例以上の兵庫県立柏原病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 丹波の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1207人(75歳以上1000人当たりの偏差値30)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1017床(偏差値47)、高齢者住宅等が190床(偏差値30)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1416人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設46、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住35である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、107人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-22%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

丹波医療圏の総人口は、2005年116055人が、2015年に105606人と9%減少し、2025年の人口が94572人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

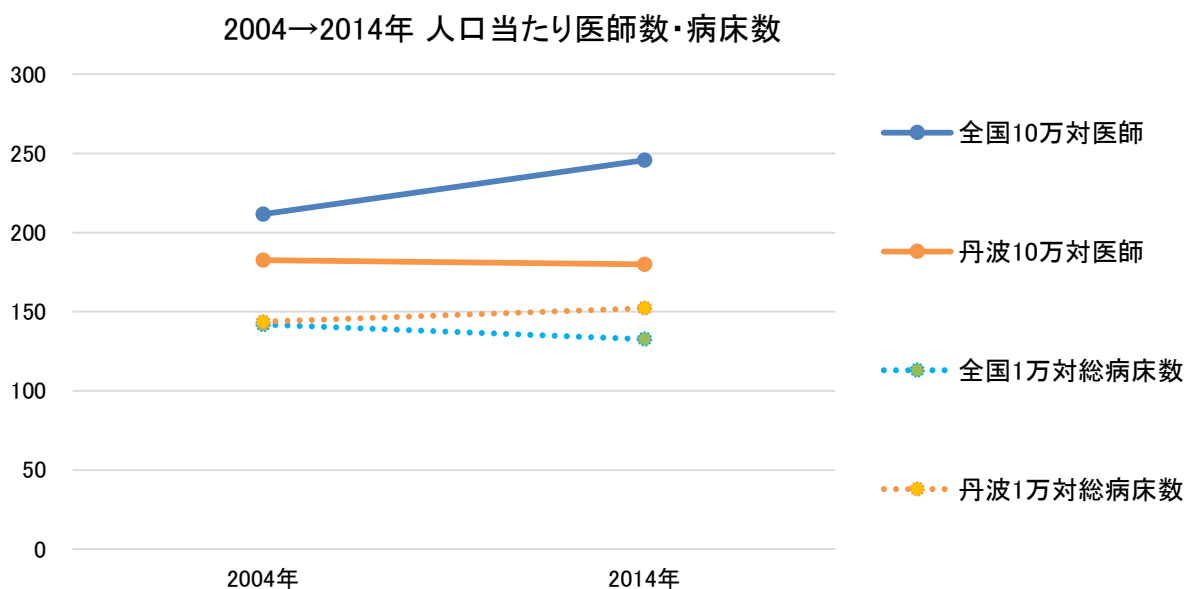
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が7(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に8(人口10万人当たり7.6病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が85(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に84(人口10万人当たり80診療所(全国平均79)偏差値50)と、1診療所が減少した。

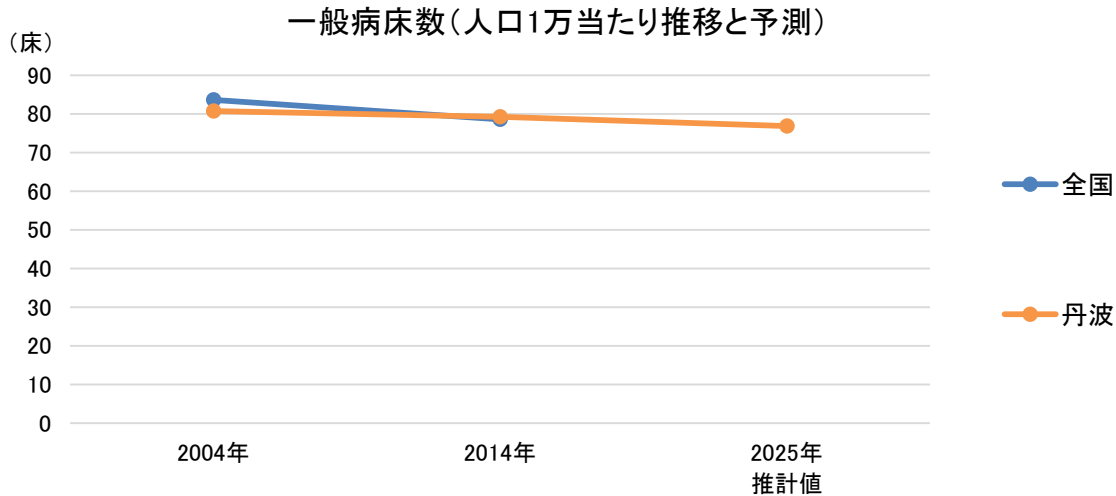
2004年の総病床数が1667床(人口1万人当たり144(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に1608床(人口1万人当たり152(全国平均133)偏差値53)と、59床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が212人(人口10万人当たり183人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に190人(人口10万人当たり180人(全国平均246人)偏差値43)と、22人の減少、率にして10%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



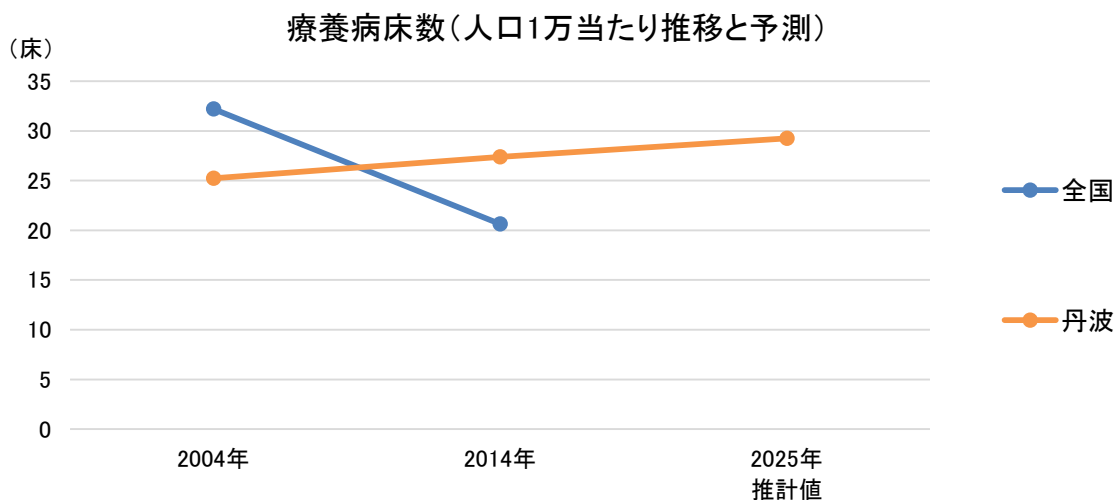
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が937床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に837床(人口1万人当たり79(全国平均79)偏差値50)と、100床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には727床(2025年の推計人口1万人当たり77)になることが予想される。



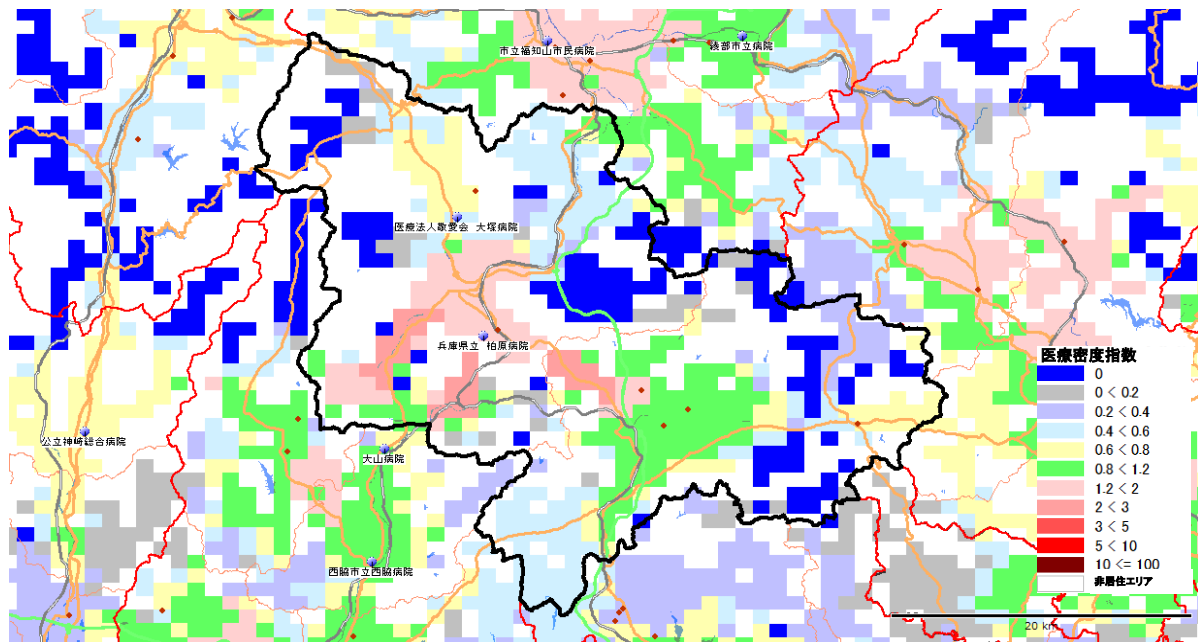
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が410床(75歳以上1000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に501床(75歳以上1000人当たり27(全国平均21)偏差値56)と、91床の増加、率にして22%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には601床(2025年の推計75歳以上1000人当たり29)になることが予想される。

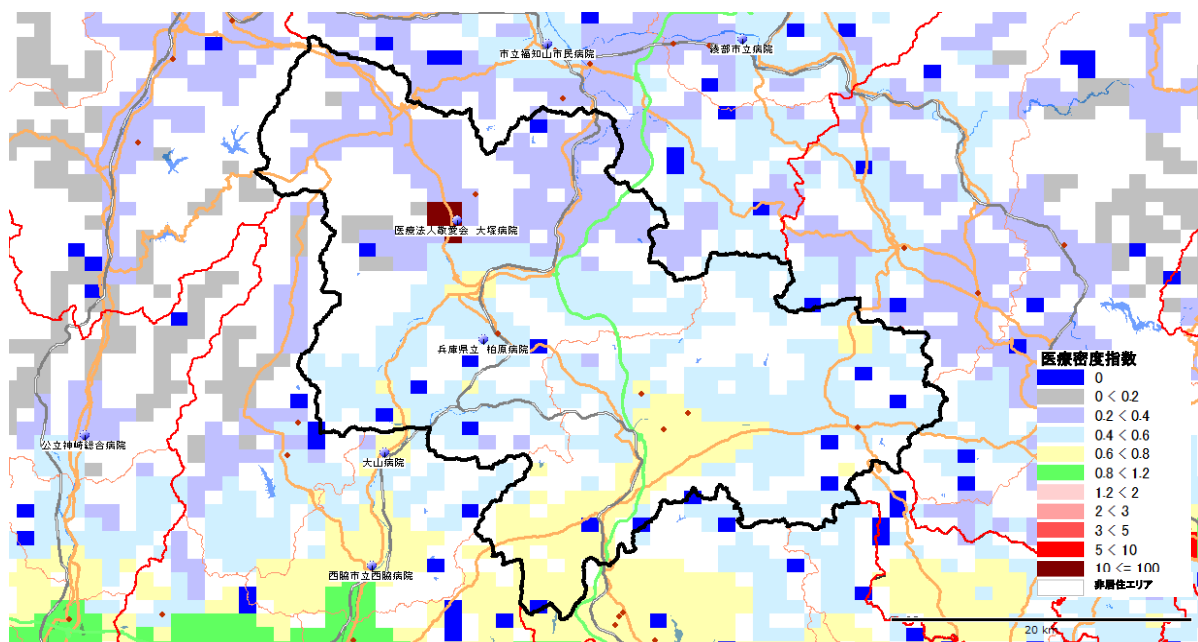


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表28-9-1 急性期医療密度指数マップ



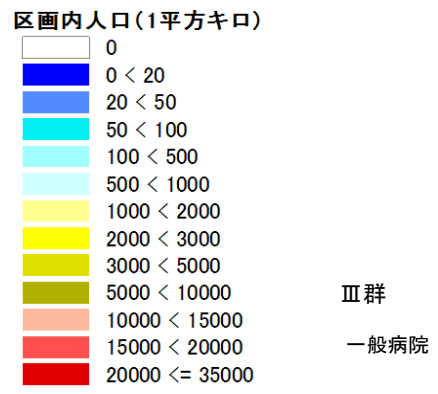
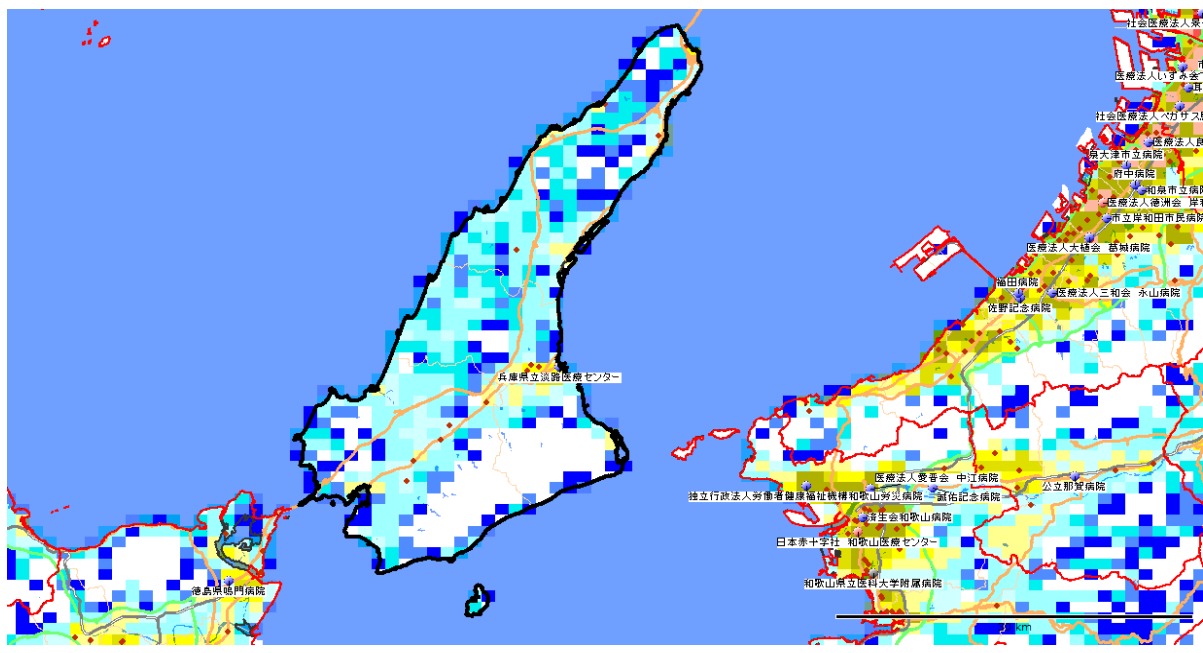
図表28-9-2 慢性期医療密度指数マップ



# 28-10. あわじ淡路医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [洲本市](#) [南あわじ市](#) [淡路市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## （淡路医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 淡路(洲本市)は、総人口約135千人(2015年推計)、面積596km<sup>2</sup>、人口密度は227人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 淡路の総人口は2025年に119千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に94千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて28千人へと増加し(2015年比+12%)、2040年には26千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 淡路の一人当たり医療費(国保)は323千円(偏差値51)、介護給付費は266千円(偏差値53)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 淡路の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.02で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が48(病院医師数46、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。淡路には、年間全身麻酔件数が1000例以上の兵庫県立淡路医療センター(Ⅱ群・救命)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は62で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 淡路の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2343人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1748床(偏差値58)、高齢者住宅等が595床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2120人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設50、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム78、グループホーム46、サ高住42である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値61と多く、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、291人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+2%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。



## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

淡路医療圏の総人口は、2005年151391人が、2015年に135313人と11%減少し、2025年の人口が118732人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

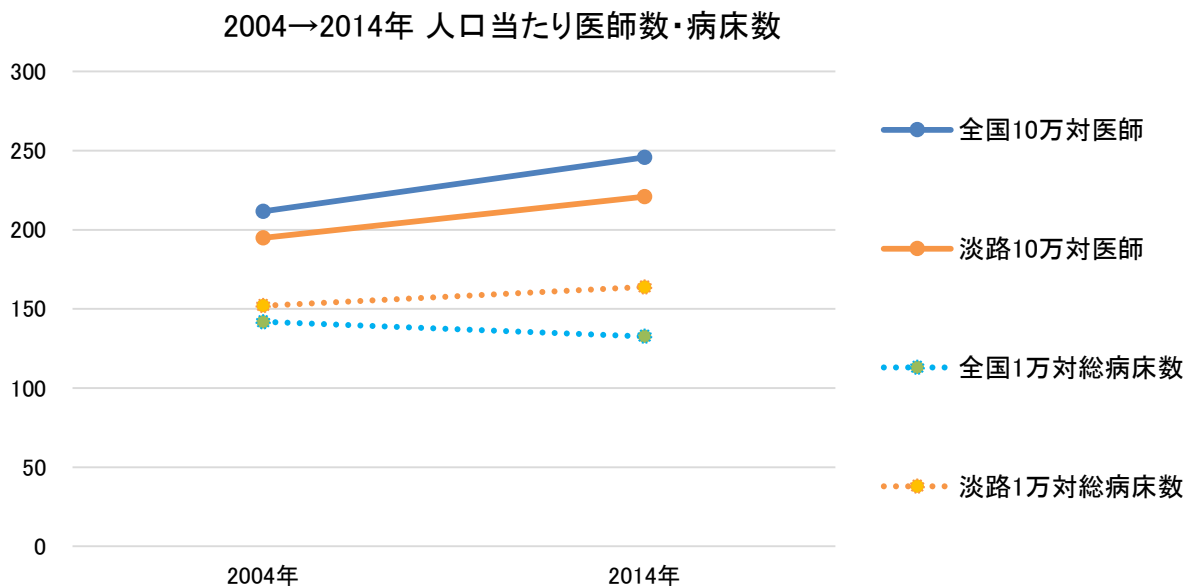
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が12(人口10万人当たり7.9病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に12(人口10万人当たり8.9病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が142(人口10万人当たり94診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2014年に140(人口10万人当たり103診療所(全国平均79)偏差値62)と、2診療所が減少した。

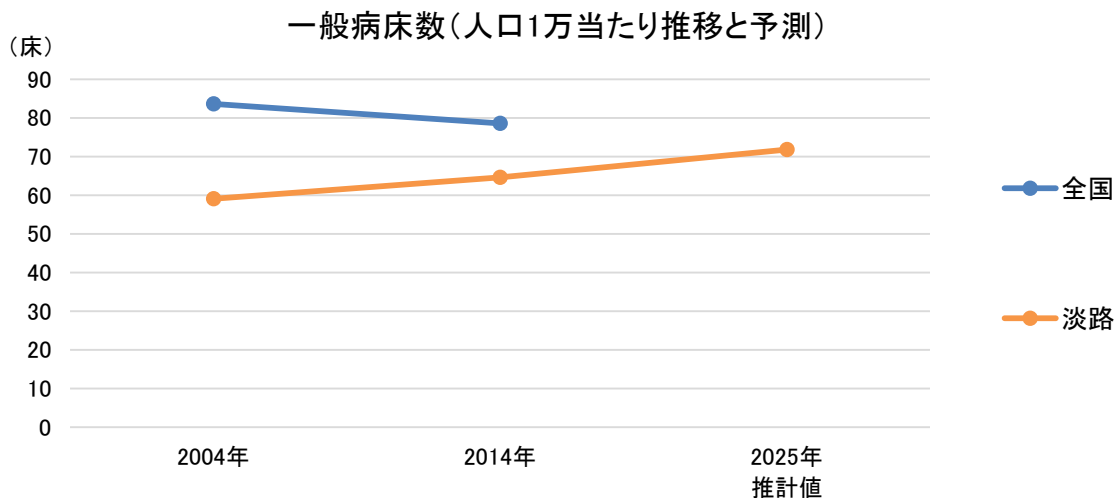
2004年の総病床数が2302床(人口1万人当たり152(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に2217床(人口1万人当たり164(全国平均133)偏差値56)と、85床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が295人(人口10万人当たり195人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に299人(人口10万人当たり221人(全国平均246人)偏差値47)と、4人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



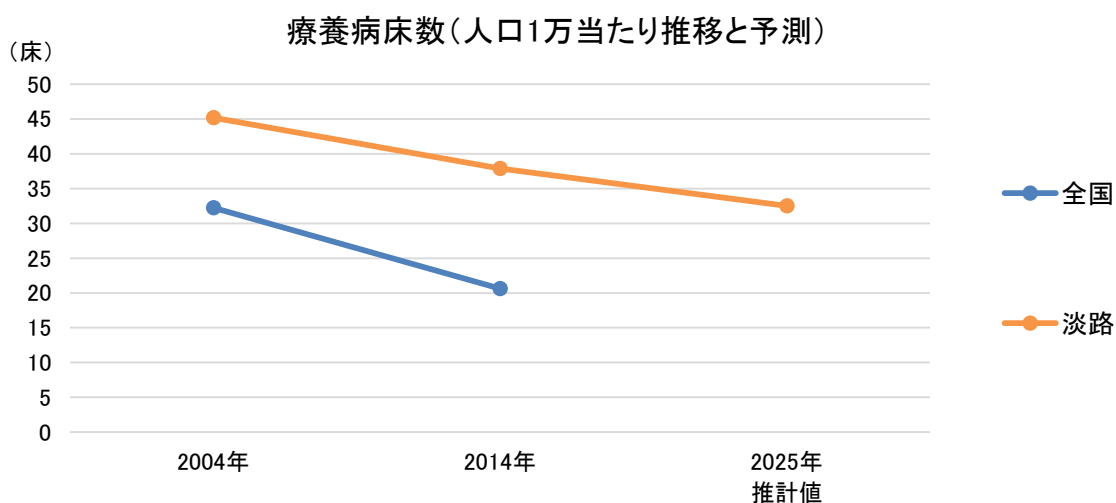
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が895床(人口1万人当たり59(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に875床(人口1万人当たり65(全国平均79)偏差値45)と、20床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には853床(2025年の推計人口1万人当たり72)になることが予想される。



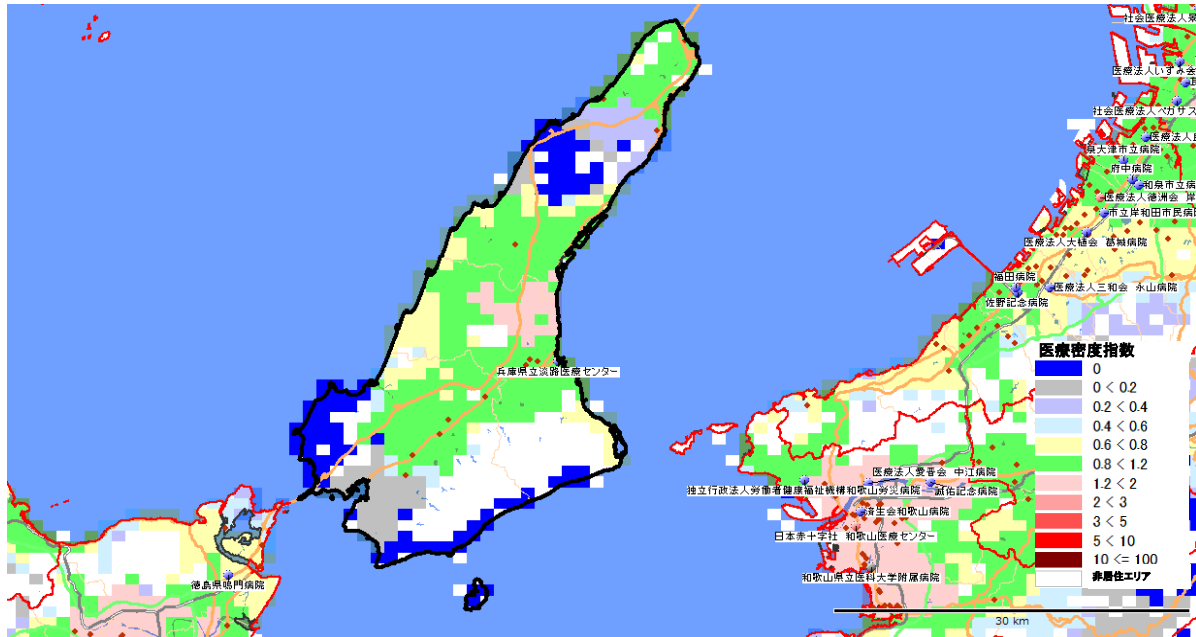
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が984床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に953床(75歳以上1000人当たり38(全国平均21)偏差値65)と、31床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には919床(2025年の推計75歳以上1000人当たり33)になることが予想される。

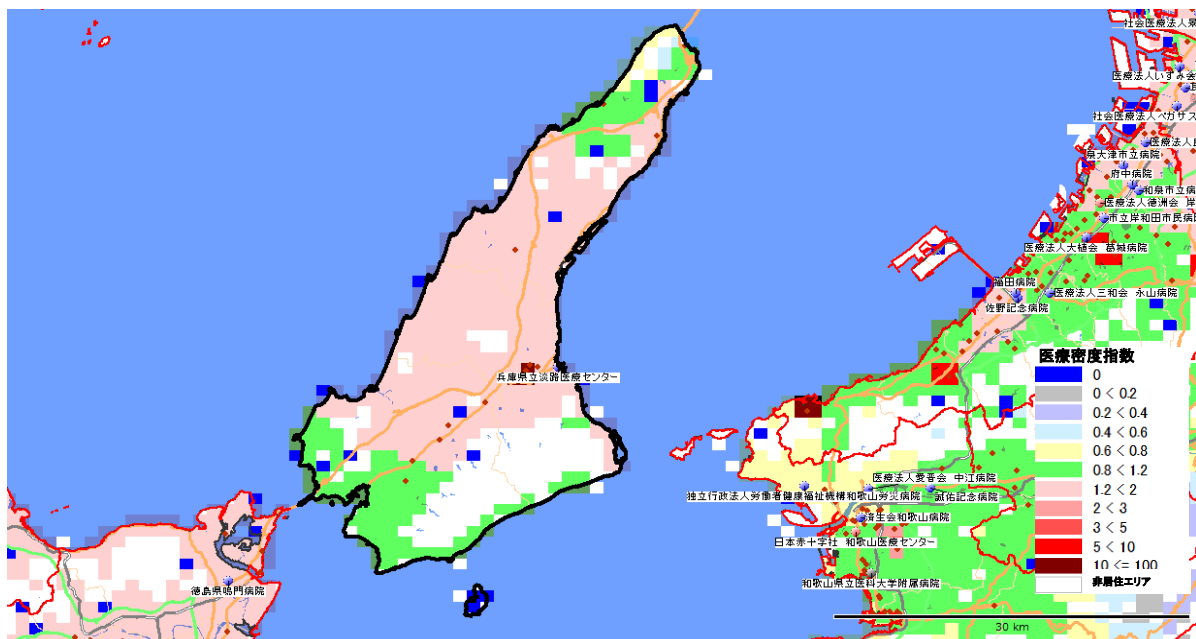


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表28-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表28-10-2 慢性期医療密度指数マップ



## 28. 兵庫県（2016年版）

### 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画（1km<sup>2</sup>メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km<sup>2</sup>以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km<sup>2</sup>）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km<sup>2</sup>未満）。白色は非居住地。  
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。